

50型/55型/65型

地上波/BS/110度CSデジタル4K対応

液晶テレビ

取扱説明書



本書で使われている画面などのイラストはイメージであり、実際の表示と異なる場合があります。意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。

目次

ご使用の前に

安全上のご注意	3
お手入れ	7
使用上の注意	8
付属品	9
各部の名称	10
リモコン	11
リモコンの準備と使い方	13
スタンドベースを取り付ける	14
テレビを設置する／壁かけでご使用	15
アンテナを接続する	16
miniB-CASカードを入れる	17

テレビを見る

電源を入れる	18
かんたん設定	19
アンテナの方向調整	20
リモコンで番組を選ぶ	21
マルチ操作ボタンの機能について	21
番組表を見る	22
視聴予約を設定する	23
検索条件を指定して番組を探す	23
データ放送を見る	24
接続した機器の映像を見る(入力切換)	25
テレビの映像を静止させる	25
便利な機能を使う	
画面サイズを変える	26
画面の位置や幅を調整する	26
音声を切り換える	27
消音する	27
チャンネル情報を見る	27
字幕を表示する	28
放送メール	28
CSボード	28
オンタイマーを使う	28
自動で電源が切れるようにする	29
文字を入力する	30

録画／予約する

USBハードディスクを接続する	31
新しいUSBハードディスクを登録する	31
USBハードディスクの設定をする	32
録画予約機能について	33
見ている番組を録画する	34
番組表から録画予約する	34
録画する日時を指定して録画予約する	35
録画設定の変更	35
録画を中止する	36
予約の確認・取り消しをする	36
録画予約に関するお知らせ	36
録画番組を再生する	37
録画した番組を保護する	38
録画した場組を削除する	38

外部機器を接続する

ヘッドホンで聞く	39
外部機器の映像と音声を本機で再生する	39
オーディオ機器にデジタル音声を出力する	41
パソコンを接続する	42
HDMI設定	43
HDMIモード	43
入力表示設定	44
HDMIスピーカー選択設定	44
インターネット接続	45
ネットワーク状態を確認する	46

設定

サブメニュー画面	47
設定メニュー画面	48
映像設定メニュー	
画質動作選択	49
画質の調整	49
高度な映像調整	50
シネマ設定	50
画面の設定	50
調整の初期化	50
音声設定メニュー	
音声調整	51
音質の調整	51
音量調整	52
デジタル音声出力	52
音声同時出力	52
調整の初期化	52
機器設定	
USB機器管理	53
録画設定	53
視聴制限設定	53
表示の設定	54
HDMI設定	54
HDMIモード	54
かんたん設定	55
設置設定	55
システム設定	56
その他の設定	56

その他

故障かな?と思ったら	
こんな場合は故障ではありません	57
全般	57
映像	58
音声	59
デジタル放送	59
録画	60
主な仕様	61

安全上のご注意

- お使いにはる前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。
- 内容をよく理解してから本文をお読みにになり、記載事項をお守りください。

警告

不適切に取り扱った場合、重大なケガや死亡を引き起こす可能性があります。

注意

不適切に取り扱った場合、ケガや資産への損傷の原因になることがあります。



⊘ は禁止事項を示しています。
上の記号はぬれた手で取り扱いを禁止していることを示しています。



● は必ず行わなくてはならない必要な操作を示しています。
上の記号はプラグを抜く操作が必要なことを示しています。

故障や異常

警告

- 焼ける匂いや煙の匂いに気づいたらすぐに電源プラグを抜く。



電源プラグを抜く

本機をそのまま使用し続けると火災や感電の原因となる可能性があります。

本機が煙を発しなくなったことを確かめてからお近くの販売店に問い合わせてください。

- 音が出なくなったり、画面が表示されなくなったりしたら、すぐに電源プラグを抜く。



電源プラグを抜く

本機をそのまま使用し続けると火災の原因となる可能性があります。

お近くの販売店に問い合わせ、修理を依頼してください。ご自分で本機を開けないでください。

- 本機に異物や液体が入った場合、すぐに電源プラグを抜く。



電源プラグを抜く

本機をそのまま使用し続けると火災や感電の原因となる可能性があります。

お近くの販売店に問い合わせ、修理を依頼してください。ご自分で本機を開けないでください。

- 本機に衝撃が加わったり、転倒したりしてテレビ台を破損した場合、すぐに本機の電源プラグを抜く。



電源プラグを抜く

本機をそのまま使用し続けると火災や感電の原因となる可能性があります。

お近くの販売店に問い合わせ、修理を依頼してください。ご自分で本機を開けないでください。

- 電源コードまたは電源コンセント / プラグが損傷している場合、すぐに本機の電源プラグを抜きます。



電源プラグを抜く

本機をそのまま使用し続けると火災や感電の原因となる可能性があります。

お近くの販売店に問い合わせ、交換を依頼してください。

取り付け

警告

- コンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する。



指示を守る

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

- 本機を風呂やシャワールームなどの極端に湿度が高い場所で使用しないでください。



風呂、シャワールームでの使用禁止

火災や感電の原因となる可能性があります。

- 不安定な面に本機を置かないでください(例:可動式の棚、テレビ台の端)。



禁止

本機が転倒した場合、ケガをする可能性があります。

スタンドの取り付けの詳細については、14 ページを参照してください。

安全上のご注意 つづき

- 100 ボルト以外の交流電圧を使用しないでください。



禁止

発熱により感電や火災の原因となります。

- 付属の電源コードを本機以外の機器に使用しないでください。



指示を守る

火災や感電の原因となる可能性があります。

- 花瓶などの物、ペットや重い物体を本機の上方に置かないでください。



禁止

花瓶からの液体、ペットの尿や毛が本機内部に入ると、火災や感電の原因となります。

重い物体が転倒した場合、ケガの原因となります。

- miniB-CASカードを子どもの手に届かない所においてください。



禁止

誤って飲み込んだ場合、ケガや窒息の危険があります。誤って飲み込んだ場合、すぐにお近くの医師へ相談してください。

カードを付属の miniB-CAS カード台紙から取り外したら、できるだけ早くカードをスロットに挿入してください。

- 転倒を防ぐため、安全対策を行います。



指示を守る

本機が十分に安定した場所に置かれていない場合、転倒の原因となる場合があります。

- 本機を壁に取り付ける場合、必ず販売店に問い合わせて専門家による取り付けを依頼してください。



指示を守る

本機が適切に取り付けられていない場合、ケガの原因となります。

- 本機背面または側面の通気口を塞がないでください。



禁止

本機周辺に 10cm 超の空間を取り、適切な通気ができるようにしてください。

新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどの物体で通気口が塞がれて通気が妨げられないようにしてください。

- 湿度、ほこり、油、煙が多い場所に本機を設置しないでください。



禁止

本機が加湿器や調理台の近くに設置されている場合、火災や感電の原因となります。

- 本機を移動、運搬させる場合



指示を守る

- 本機をダンボール箱から取り出したり、運搬するには 2 人必要です。

1 人で取り扱う場合、ケガや本機への損傷の原因となります。

- 必ず本機ケーブル類をつまづく危険がない場所へ設置してください。

ケーブルにつまずいたり、ケーブルが損傷した場合、火災や感電の原因となり、また転倒により本機への損傷の原因となります。

- キャスターが付いているテレビ台ごと本機を移動させる場合、キャスターのロックを外して本機をしっかりと支えてください。

上記を行わない場合、転倒により本機への損傷の原因となります。

- 床面の凹凸や本機への衝突を避けるため、慎重に本機を移動させてください。

上記を行わない場合、本機への損傷の原因となります。

- キャスター付きのテレビ台に本機を設置している場合、ホイールをロックしてください。



指示を守る

上記を行わない場合、転倒により本機への損傷の原因となります。

テレビ台が柔らかいカーペットや畳の上に設置されている場合、キャスターを取り外してください。キャスターを取り外さない場合、揺れ、傾き、転倒の原因となります。

⚠ 注意

- 極端に高温の場所に本機を設置しないでください。



禁止

本機が直射日光にさらされたり、その他の熱源の近い所に設置されている場合、火災の原因となります。

テレビ台が変形、損傷している場合、感電の原因となります。

安全上のご注意 つづき

使用



警告

- 絶対にご自分で本機を開けないでください。



分解禁止

内部に高電圧部品があり、火災や感電の原因となります。

保証修理については、お近くの販売店にお問い合わせください。

- 電源コードと信号ケーブル



禁止

- 電源コードや信号ケーブルの上に物を置いたり、巻いたりしないでください。

- 電源コードや信号ケーブルが踏みつけられないように保護してください。

- 電源コードや電源コンセントに過度な負荷をかけないでください。

- 電源コードや信号ケーブルに水分をつけないでください。火災や感電の原因となる可能性があります。

- テレビのスロットへ物を押し込まないでください。



異物挿入禁止

部品が破損したり、ショートを起こしたりする場合があります。火災、感電、本機の損傷の原因となります。

- 落雷時には、電源コード、アンテナケーブル、本機に接続されているケーブル類に触れないでください。



接触禁止

感電の原因となります。

- 子どもに包装用ビニール袋で遊ばせないでください。



指示を守る

鼻や口に密着し、呼吸を妨げる原因となります。

誤って飲み込んだ場合、すぐにお近くの医師へ相談してください。



注意

- テレビ台、スタンドを使用する場合



禁止

- 不安定なテレビ台を使用しないでください。

- 本機重量を安全に支えることができるテレビ台のみ使用してください。

- 本機がテレビ台の端から突き出した状態になっていないことを確認してください。

- 本機とテレビ台の間に布や物を置かないでください。

テレビ台が転倒および損傷した場合、ケガの原因となります。

- 電源コンセントや配線器具の定格出力を超えて使用しないでください。



禁止

延長コードを使用して、1つの電源コンセントに多くの電源コードを接続しないでください。

火災や感電の原因となる可能性があります。

- 電源プラグを取り外すとき、電源コードを引っ張って取り外さないでください。



引っ張り禁止

電源コードの損傷により、火災や感電の原因となります。

電源プラグ自体をつかんで、取り外してください。

- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



めれ手禁止

感電の原因となります。

- 本機を踏みつけたり、ぶら下がったりしないでください。



禁止

転倒により、重大なケガや本機への損傷の原因となります。

- 本機で長時間視聴しない場合、電源コンセントから電源コードを取り外して完全に電源をオフにします。



電源プラグを抜く

予想外の故障により、火災の原因となります。

リモコンまたは本機の電源ボタンを押して画面をオフにした場合、本機への電源供給は完全に切られていません。本機の電源を完全に落とすには、電源プラグを取り外す必要があります。

- 必要な場合、音量を落とした状態でヘッドホンを接続してから音量を上げます。



禁止

大きい音量で長時間ヘッドホンを使用すると、聴覚障害の原因となります。

- リモコン用電池



禁止

- 指定された種類の電池のみ使用してください。

- 正しい向きに電池をセットしてください。

- 新しい電池と使用済みの電池を併用しないでください。

- 充電式電池を使用しないでください。

- 電池を日光、火気などの過度の熱にさらしたり、火の中に投げ入れたり、電池を充電したり、開けたりしないでください。

- 長時間使用しない場合、電池をリモコンから取り外してください。

安全上のご注意 つづき

不適切に取り扱った場合、電池が液漏れや破裂しケガの原因となります。

電池が液漏れし、肌、目、口に触れた場合、きれいな水で完全にすすいでから、すぐに医師に相談してください。

液体が服に触れた場合、すぐにきれいな水ですすいでください。

液体が器具類、家具または床に付着した場合、液体に直接触れずにふき取ってください。

- 本機画面へ強い圧力を加えないでください。



禁止

本機画面への損傷の原因となります。

画面が損傷し、液体が漏れている場合、液体に触れないでください。

液体が肌、目、口に触れた場合、きれいな水で完全にすすいでから、すぐに医師に相談してください。

液体が服に触れた場合、すぐにきれいな水ですすいでください。

液体が器具類、家具または床に付着した場合、液体に直接触れずにふき取ってください。

- 化学薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤を本機周辺に置かないでください。



禁止

本機のプラスチック部分に付着した場合、品質の劣化、または亀裂の原因となります。

化学薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤が本機に触れた場合、すぐにふき取ってください。

本機スタンドまたはテレビ台が損傷した場合、感電や転倒によるケガの原因となります。お近くの販売店に問い合わせ、修理を依頼してください。

クリーニング



警告

- 電源プラグの先端にほこりがたまった場合、ほこりを乾いた布でふき取ってください。



指示を守る

電源プラグの絶縁が不良となり、火災の原因となります。



注意

- 本機をクリーニングするときは、電源プラグを抜きます。



電源プラグを抜く

電源プラグを抜かない場合、感電の原因となります。

本機のクリーニング方法の詳細については、7ページを参照してください。

- お近くの販売店に相談して、最低1年に1度本機内部のクリーニングを行ってください。



指示を守る

長い間清掃しないと、ほこりが内部に溜まり、火災や故障の原因となります。

湿度が高くなる時期の前にクリーニングを行うと、特に効果的です。内部クリーニングの費用については、お近くの販売店に相談してください。

お手入れ



注意

◆ クリーニング時には、電源コードを電源コンセントから抜きます。

- 電源コードを抜かない場合、感電の原因となります。



クリーニング時の注意

ベンゼンやアルコールなどの化学薬品を使用しないでください。

- ベンゼンやアルコールなどの揮発性溶剤の他に、アセトンやトルエンなどの溶媒キシレンを使用しないでください。テレビ台や画面(液晶パネル)が溶けたり、損傷したりする場合があります。
- クレンザーや研磨剤が入っている洗剤を使用しないでください。表面が損傷する場合があります。

ウェットタイプのクリーニング用布 / 紙や化学処理した布を使用しないでください

- それらに含まれる化学成分により、テレビ台や画面が溶けたり損傷したりする場合があります。

直接水をかけたり、スプレー洗剤を吹きかけたりしないでください。

- 本機内部が水分により故障、火災、感電の原因となります。



ぬれた手でクリーニングしないでください

- ぬれた布を洗って絞った場合、手から水滴を十分にふき取ってください。水滴が本機に浸入すると故障の原因となります。



乾いた、柔らかい布を使用し、やさしく画面をふきます。

- 画面の表面は樹脂製です。画面を固い布や紙でふいたり、画面を削ったりすると表面が損傷し映像品質が落ちる場合があります。やさしくふき取ってください。
- 画面内部はガラス製です。画面をたたいたり、押ししたり、力を加えると画面がひび割れることがあります。やさしく取り扱ってください。
- 小さい子どもが画面に触れないように注意し、画面がたたかれないようにしてください。

画面およびテレビ台のクリーニング

1 画面の表面やテレビ台に付着しているほこりを払ってください。

- ◆ 柔らかいモップでほこりを払います。
- ※ まだ付着しているほこりをふき取らないでください。こすると表面が傷つきます。

2 柔らかい乾いた布でやさしくふき取ります。

ほこりをふき取るのが難しい場合：

- ◆ およそ 1000 倍に水で薄めた中性洗剤につけた布でふき取ってから、柔らかい乾いた布でふき取ってください。



- ※ 水滴が手についている場合、本機に触れる前にふき取ってください。
- ※ 洗剤やほこりが画面に残っている場合、洗った後の余分な水分が絞られた柔らかい布でやさしくふいてください。
- ※ 画面をぬれたままにしないでください。ぬれたままにしておくと、水分の吸収により退色や劣化の原因となります。画面が湿っている場合、柔らかい乾いた布でやさしくふき取ってください。

使用上の注意

取り扱い

- 使用中に発熱する本機部品があることにご注意ください。
- 本機を長距離移動または運搬する場合、毛布などで本機を包装して損傷を防ぎ、必ず本機への衝撃や振動を避けてください。
- 本機へ殺虫剤や揮発性物質を使用しないでください。また、本機にゴムやビニールを長時間接触させないでください。劣化、退色、腐食の原因となります。
- 長時間使用していない電源コンセントには接続しないでください。電源プラグを接続すると、番組情報が入手できるようになります。
- キャッシュカード、磁気カード、ビデオテープを本機近くに置かないでください。本機からの電磁波により、これらのデータや録画内容が影響を受けることがあります。
- LCD 画面のドライバーから「ジー」というノイズが発生しますが、これは故障ではありません。
- 外部入力(ビデオ入力、HDMI 1～4)からの映像や音声にわずかな遅延が生じる場合があります。次の状況で遅延により、不快に感じる可能性があります：
 - ◆ ゲーム機やカラオケを接続して楽しむ場合
 - ◆ オーディオ機器を外部機器のオーディオへ直接接続して使用している場合

録画

- 本機へ録画機器を接続する前に、前もって録画を試し正常に録画できることを確認してください。
- 本機へ接続された録画機器に録画されたものの長期保存は保証できかねます。録画機器は一時的な保存や再生用として使用してください。
- 著作権により全ての番組が保護されています。一部の番組では、コピーや録画が禁じられています。一部の番組では、一度のコピーのみ可能で追加のコピーが禁じられています。(本機では録画した番組の追加コピーができません。)
- 個人の商用以外の使用を除き、コンテンツ保有者またはサービスプロバイダーから認可されていない方法で録画番組を使用することは禁じられています。いかなる方法または媒体においても、録画した番組の修正、複製、アップロード、投稿、転送または販売は禁じられています。以下の行為は、著作権法総則で保護されている権利の侵害にあたることに注意してください。
 - ◆ 個人のホームページへの録画番組の投稿
 - ◆ メッセージサービスまたは電子メールによる、他人への録画番組の送信
 - ◆ 利益目的による多人数へのディスクまたはビデオテープの形態で録画された番組の貸与
- 著作権法違反は刑事罰に問われる可能性があります。著作権の侵害によるいかなる損害の責任を負うこととなります。当社はその損害に対する一切の責任を明確に否認します。

譲渡および廃棄

- 譲渡や廃棄前に、お客様の個人情報を守るため、必ず全ての設定を出荷時設定へ復元してください。詳細については、56 ページを参照してください。
- 廃棄時には、家電リサイクル法を遵守してください。本機を廃棄するには、収集費、運送費、リサイクル費を自治体や販売店に支払う必要があります。

免責条項

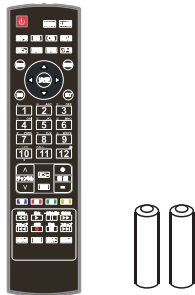
- 地震、火災、その他災害、第三者による行為、ユーザーの故意または過失による操作、誤使用またはその他特殊な状況下での操作による損害について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機の使用または使用不能により発生する損害(事業利益の逸失、業務の混乱、番組アクセス手数料の逸失等)について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本マニュアルにある説明に従わずに発生する費用または損失について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 録画中に接続された機器の使用または使用不能により発生する損害(録画機の故障、録画した内容の変更または喪失)について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ノイズ、静電気、本機の誤使用により発生するデータの変更または喪失について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 故障または修理により発生するデータの喪失について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

付属品

- 開始する前に、本機に以下の付属品が含まれているか確認してください。足りないものがあつた場合、ご購入店にお問い合わせください。
- 外部接続用の一部のケーブル類およびコード類は含まれていません。別途購入してください。

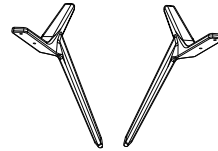
リモコン

- リモコン ×1
- 単四形乾電池 ×2



スタンドベース

- スタンドベース ×2



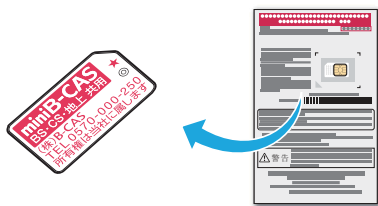
- ネジ 4本



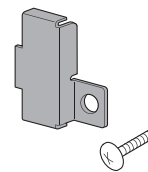
miniB-CAS カード

- miniB-CAS カード ×1

台紙に張り付けられています



miniB-CASカード紛失防止ホルダー



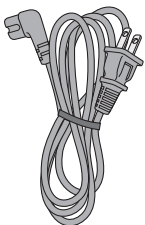
固定用ネジ (1本)

資料

- 取扱説明書 ×1
- かんたんガイド ×1
- 保証書 ×1

ケーブル

- 電源コード ×1

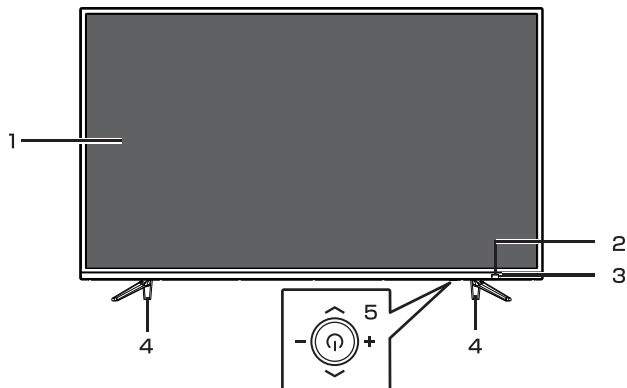


各部のなまえ

● イラストは実際の商品の外観とは異なる場合があります。

本体前面

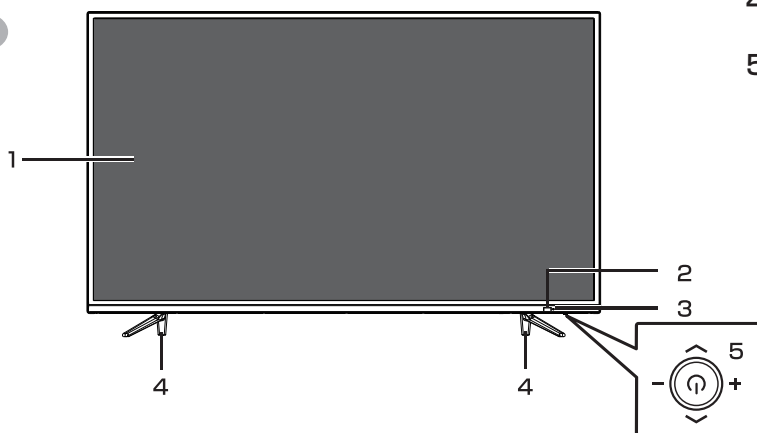
50型、55型



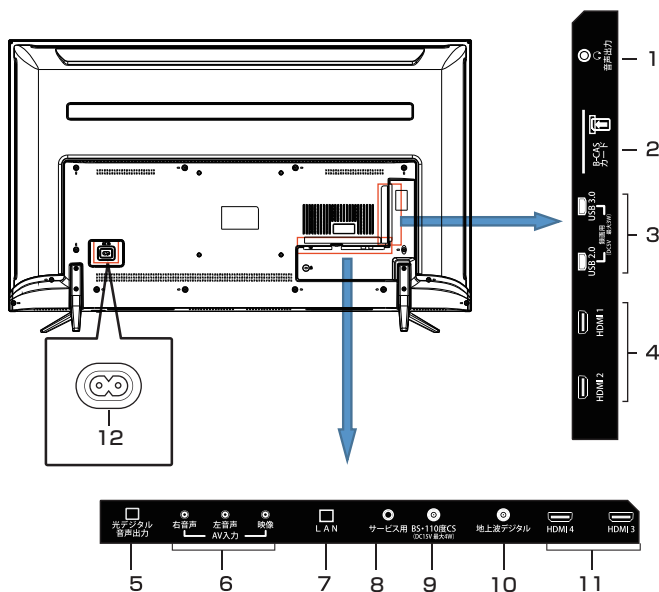
- 1 液晶画面
- 2 リモコン受光部
- 3 電源ランプ
- 4 スタンドベース
- 5 マルチ操作ボタン

※マルチ操作ボタンの使い方は
21ページを参照してください。

65型



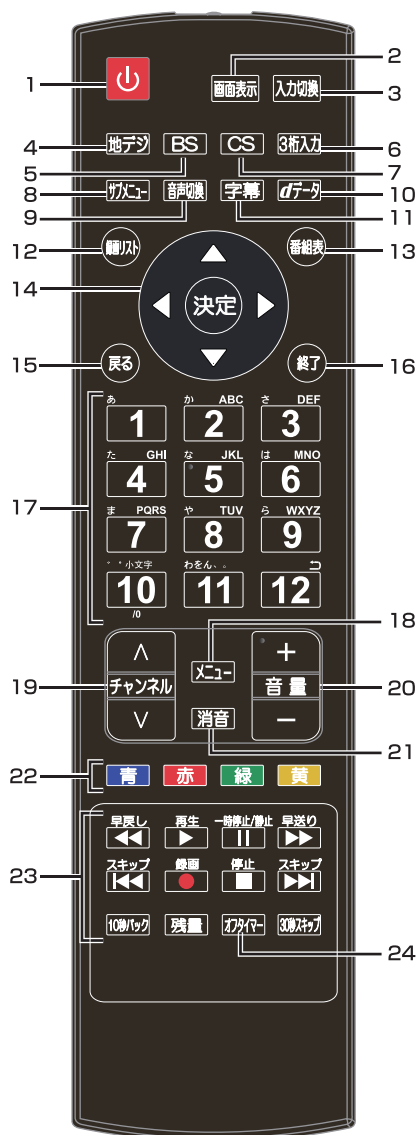
本体背面



- 1 イヤホン／音声出力端子
(ステレオミニジャック)
- 2 B-CASカード挿入口
- 3 録画用端子
(USB2.0／USB3.0)
- 4 HDMI入力端子
(HDMI1／HDMI2)
- 5 光デジタル音声出力端子
(光角型ジャック)
- 6 AV入力端子 (映像／音声)
- 7 LAN端子
- 8 サービス端子※
- 9 BS・110度CSアンテナ入力端子
- 10 地上波デジタルアンテナ入力端子
- 11 HDMI入力端子
(HDMI3／HDMI4)
- 12 AC電源端子

※ サービス端子は一般のお客様にはご利用になれません。

リモコン



- 1 **電源ボタン**
テレビの電源を入れたり、切ったりします。
- 2 **画面表示ボタン**
現在受信している番組の情報を表示します。
- 3 **入力切換ボタン**
押すたびに入力切り換わります。
- 4 **地デジボタン**
地上デジタル放送を受信します。
- 5 **BSボタン**
BSデジタル放送を受信します。

- 6 **3桁入力ボタン**
3桁入力で選局します。
- 7 **CSボタン**
110度CSデジタル放送を受信します。
- 8 **サブメニューボタン**
サブメニュー画面を表示します。
- 9 **音声切換ボタン**
2カ国語／ステレオなど音声を切り換えます。
- 10 **dデータボタン**
データ放送を表示します。
- 11 **字幕ボタン**
字幕を切り換えます。
- 12 **録画リスト**
録画一覧を表示します。
- 13 **番組表**
番組表をテレビ画面に表示します。
- 14 **決定ボタン**
メニュー画面の選択内容を決定します。
▲▼◀▶ボタン
メニュー画面で、カーソルを移動します。
- 15 **戻るボタン**
メニュー画面で、1つ前の画面に戻ります。
- 16 **終了ボタン**
メニュー画面、入力切換、画面表示、番組表を消したいときに押します。
- 17 **数字ボタン**
視聴するチャンネルを選びます。英数字・記号などの入力にも使用します。
- 18 **メニューボタン**
メニュー画面を表示します。
- 19 **チャンネルへ▼ボタン**
チャンネルを順に切り換えます。
- 20 **音量+／-ボタン**
音量を調整します。

21 消音ボタン

音声を一時的に消します。もう一度押すと消音を解除します。

22 カラーボタン（青、赤、緑、黄）

データ放送を利用する場合に使用します。
また、さまざまな機能ボタンとして使用します。

23 録画／再生機能ボタン

USB ハードディスクを接続して番組を録画や再生するときを使用します。

録画ボタン

番組を録画します。

一時停止／静止ボタン

再生中に映像を一時停止します。テレビ放送視聴中は映像を静止します。

- 録画／再生機能ボタンについて詳しくは 38ページをご覧ください。

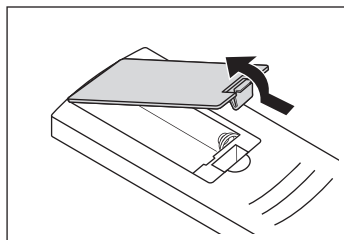
24 オフタイマー

オフタイマーの設定ができます。

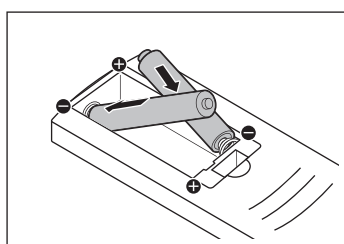
リモコンの準備と使い方

乾電池を入れる

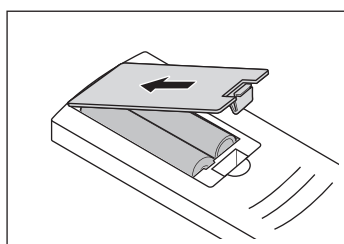
- 1 リモコン裏側の電池カバーをはずす
ツメの部分を押し下げて、持ち上げてください。



- 2 +、-極の方向に注意して乾電池を入れる

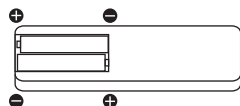


- 3 電池カバーを元に戻す



ご注意

- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。新しい乾電池の寿命が短くなったり、古い乾電池から液漏れして火災やけがの原因になる場合があります。
- 乾電池の入れ方が正しくないと、リモコンの故障や火災の原因になる場合があります。



- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたり、火の中に入れたりしないでください。

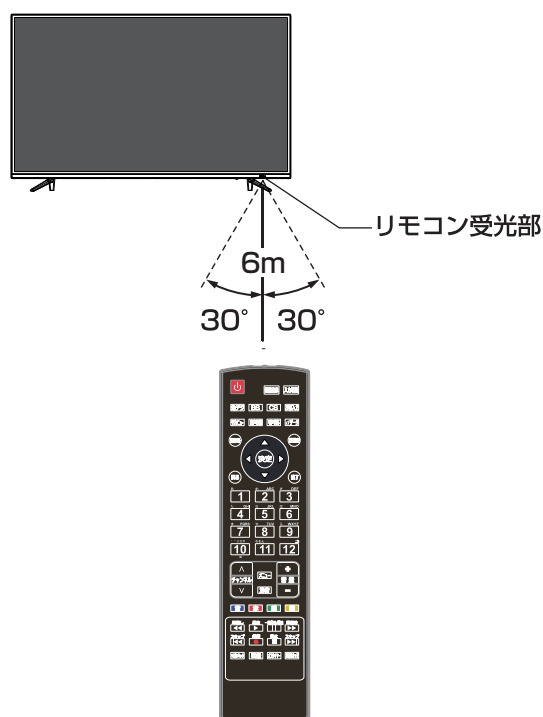
リモコンの有効範囲

お願い

- 乾電池は正しい電極の向きで入れてください。
- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従ってください。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取りはずしてください。

● リモコンで操作できる範囲

本体前面のリモコン受光部の正面から約 6m 左右 30° の範囲でお使いください。



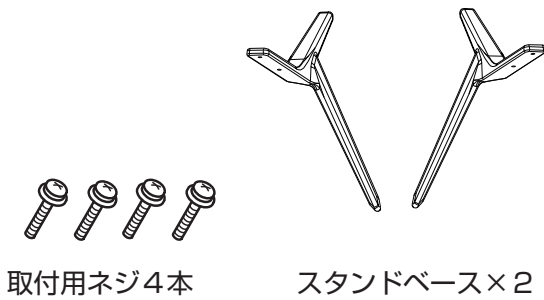
お願い

- リモコンと本体のリモコン受光部の間に物を置かないでください。

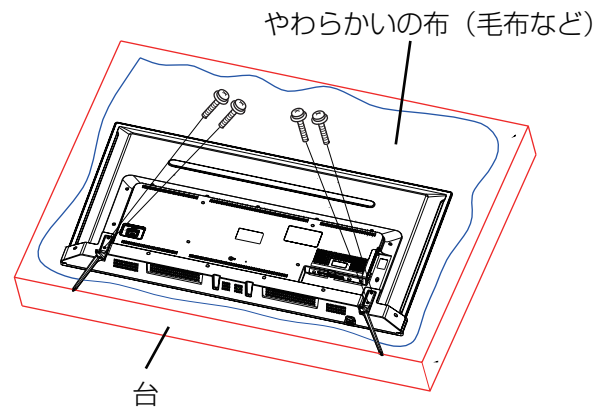
スタンドベースを取り付ける

- 指示に従って組み立てて下さい。
- イラストは実際の商品の外観とは異なる場合があります。
- 特に組立中の損傷を避けるため、ネジやプラスチック部品はグリースや有機溶剤から離して置いて下さい。
- 組立中に画面に傷がつかないように、画面の下に柔らかい布などを置くようにしてください。
- スクリーンを下にして倒すとき、画面に傷がつかないように、下に先の尖ったものを置かないでください。
- 壁に取り付けたい場合は、別途専用の金具を購入してください。取付詳細は各金具（市販）の取扱説明書に従ってください。

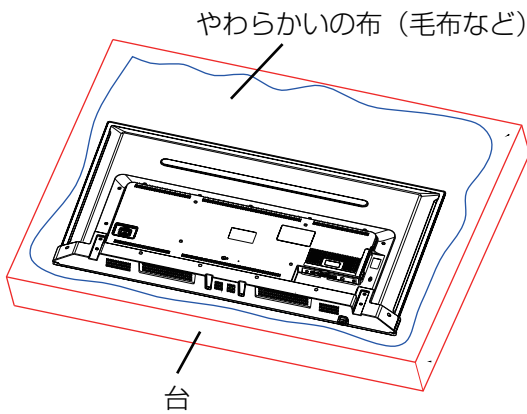
1 スタンド用組み立て部品を確認する。



3 本体にスタンドベースを取り付ける穴に合わせ、付属のネジ4本で固定する。



2 テーブルなどの台の上に毛布などの柔らかい布を敷き、その上に液晶画面を下向きにして本機を置く。

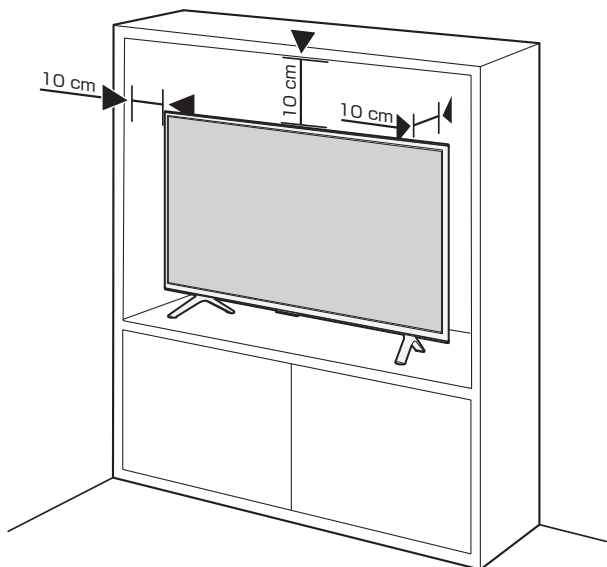


テレビを設置すると壁かけでご使用

正しい置きかた

- テレビを設置する前に、設置面がテレビの重さに耐えることができるか確認してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。また、テレビの前面が設置面から張り出さないようにしてください。
- 通風孔をふさがないように本機の上および周囲に 10cm 以上の空間を設けてください。

※ この製品イラストは実物と異なる場合があります。



壁かけでご使用

- 本機は壁にかけて使用することができます。
- この商品は落下事故などの危険を防ぐため、取付方法には十分注意する必要があります。
- 十分な技術、技能を有する取付工事専門業者が施行を行ってください。

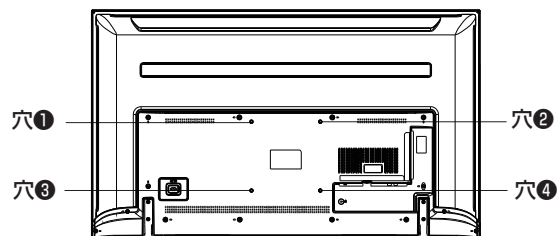
※ 壁掛け取り付け寸法：
50型：200x200mm
55型、65型：300x200mm
本体側固定用ネジ：
PM6×25mm（本体付属）

壁掛け金具：別売市販

最寄りの家電量販店等にお問い合わせください。

本機背面の壁掛け穴のピッチに合わせて、本機を壁面に設置してください。

設置の際は本機を落下させないように注意してください。



※ イラストは実物と異なる場合があります。

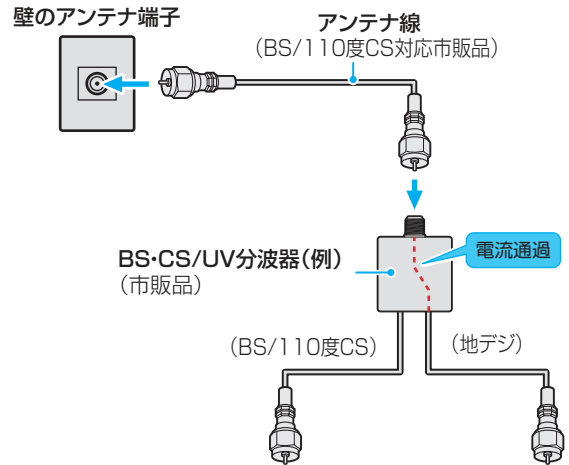
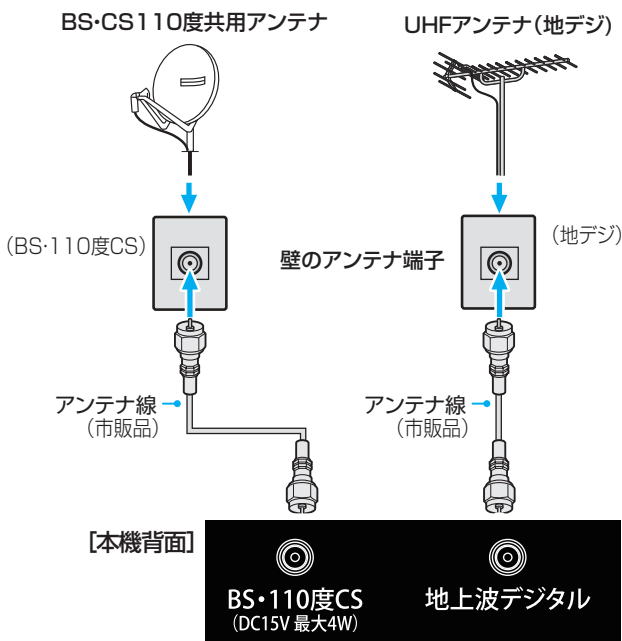
アンテナを接続する

- アンテナ接続時には、必ず本機の電源をオフにして、電源コンセントから電源プラグを抜きます。
- アンテナを接続する際は、スパナなどの工具を使用しないでください。



- 電波が減衰するため、アンテナ線はできるだけ短いものを使用してください。
- イラストは実際の商品の外観とは異なる場合があります。

一戸建て住宅（個別アンテナによる受信）

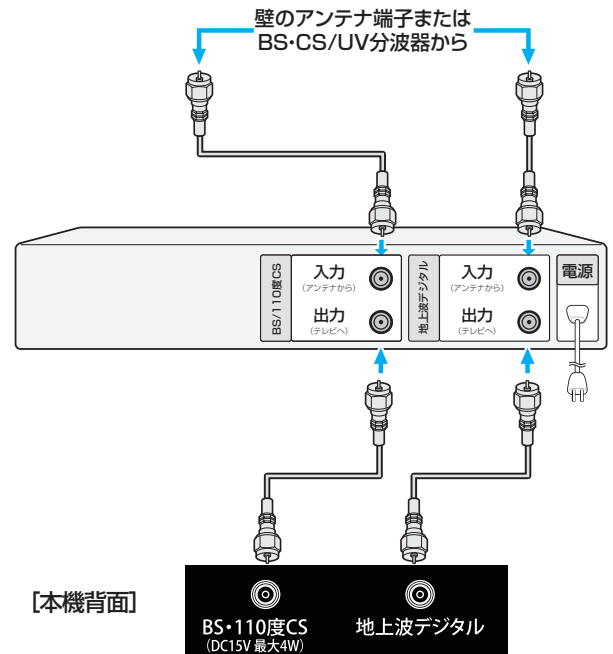


[本機背面]



録画機器を経由する場合

- 録画機器のアンテナ電源供給がオンに設定されていることを確かめてください。詳細については、録画機器の取扱説明書を参照します。



[本機背面]

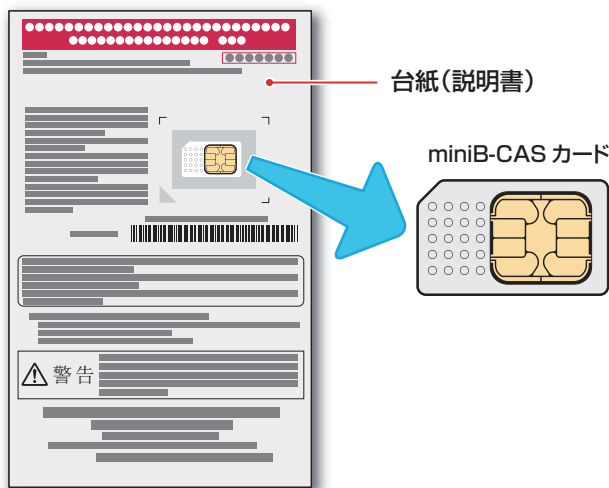


集合住宅（共用アンテナによる受信）

- BS・110度CSおよび地上デジタルで共用アンテナを使用する場合、DTVを受信できるようにするため一部工事が必要になることがあります。詳細については、大家の方またはアパート/マンションの管理組合に事前の準備を依頼します。
 - BS・110度CS共用アンテナには電源が必要です。BS・110度CSアンテナ入力端子を通じて電源が供給されるようにBS・CS/UHFミキサーおよびデュプレクサーに電流が流れるようにする必要があります。
- ※ 本機からBS・110度CS共用アンテナへ電源を供給する必要はありません。

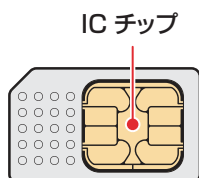
miniB-CAS カードを挿入する

- デジタル放送を受信するには、miniB-CAS(ミニビーキャス)カードが常時挿入されている必要があります。
- miniB-CAS カード台紙(説明書)の記載内容をご覧ください。今後参照出来る様に保管しておきます。



miniB-CAS カードの取り扱い

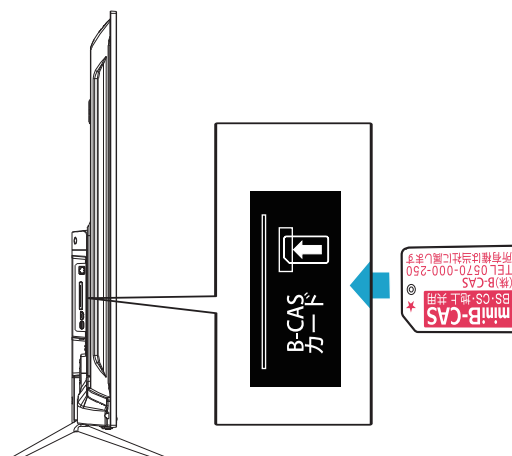
- miniB-CAS カードの挿入・排出時には、本機の電源をオフにし、電源コンセントから電源プラグを抜いておいてください。
- ICチップが汚れているとデジタル放送が受信できない場合があります。ICチップに触れないよう注意してください。



- 乾いた、清潔な手で取り扱ってください。
- ICチップが汚れている場合、清潔で柔らかい、乾いた布でクリーニングしてください。
- イラストは実際の商品の外観とは異なる場合があります。

挿入のしかた

- 1 miniB-CAS カードの台紙をよく読む。
- 2 miniB-CAS カードを台紙から剥がす。
- 3 miniB-CAS カードを挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。



※miniB-CAS カードの紛失防止のため、付属のminiB-CAS カード紛失防止ホルダーを取り付けてお使いください。

miniB-CAS カードのテスト

- miniB-CAS カードを挿入後、3秒ほど待ってから次の操作を実行してください。

メニュー を押し、「機器設定」→「設置設定」を選び、**決定** を押し。

「B-CAS テスト」を選択し、**決定** を押し。

- ◆ 「NG」が表示された場合は、miniB-CAS カードが挿入されているか確認してください。

取り出ししかた

カチッと音がするまで押し。

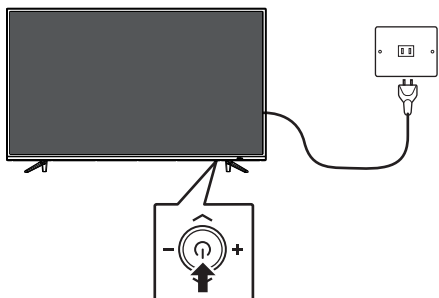
- ◆ miniB-CAS カードが少し出てきます。取り外す時は、ICチップに触れないよう注意してください。


電源を入れる

- アンテナの接続が終わったら、本機の電源を入れます。

1 本体背面の AC 電源端子に電源コードを差し込む

2 電源プラグをコンセントに差し込む
本体が待機状態になり、前面の電源ランプが赤く点灯します。



3 リモコンの  または本体底面のマルチ操作ボタンを押す

電源が入り、本体前面の電源ランプが緑色に点灯します。

画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。

はじめて電源を入れたときはチャンネル設定が必要です。次 ページの「かんたん設定」を参照し、設定してください。

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

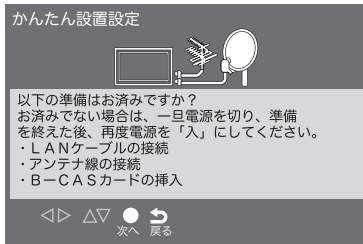
- コンセントからプラグを抜く際は：
 - ① 録画が行われていないか確認してください。
 - ◆ USB ハードディスクに録画を行っている際に電源をプラグを抜いてしまうと、録画した番組が消えてしまうことがあります。
 - ② 録画予約が始まらないか確認してください。
 - ◆ 録画予約が始まった際に電源プラグを抜いてしまうと、予約した番組が録画されません。
 - ③ 本体の電源を消してください。
 - ◆ 「待機」の際も、本体はわずかですが電力を消費しています。
 - ④ コンセントからプラグを抜きます。
 - ◆ テレビの電気が完全に切れます。

『かんたん設定』

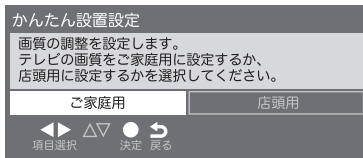
「かんたん設定」について

お買い上げ後、miniB-CASカードを入れてはじめて電源を入れたときは、「かんたん設置設定」で、お住まいの地域に適したチャンネルを設定します。

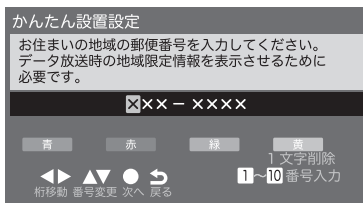
- 1 アンテナ接続と miniB-CAS カードを確認し、**決定**を押す
「かんたん設置設定」が表示されます。



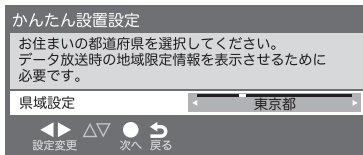
- 2 **決定**で「ご家庭用」を選び、**決定**を押す



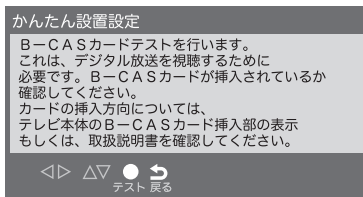
- 3 **決定** または **決定** または **決定** または **決定** (1 ~ 10%) でお住まいの地域の郵便番号を入力し、**決定**を押す



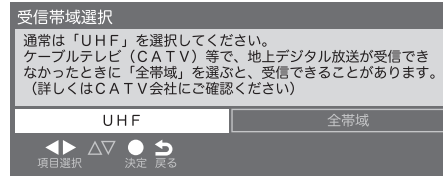
- 4 **決定** でお住まいの都道府県や地域を選び、**決定**を押す



B-CAS カードテスト画面が表示されます。

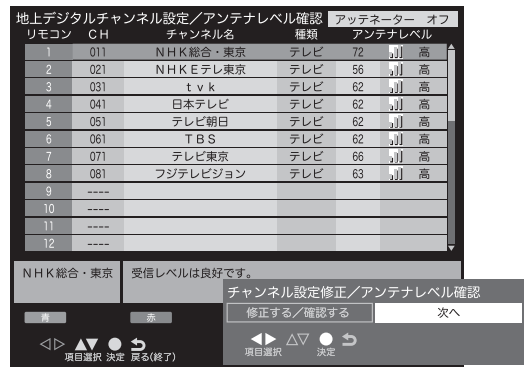


- 5 **決定** で受信帯域を選び、**決定** を押す
通常は UHF を選びます。



地上デジタル放送チャンネルの初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

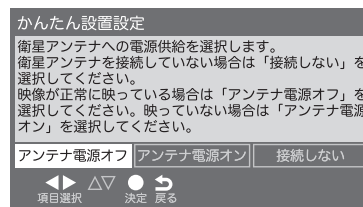
スキャンが終わると、地上デジタル放送チャンネルの設定内容を確認する画面が表示されます。



お知らせ

- **決定** を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
- 自動設定された内容を変更したい場合は、「設置設定」で設定し直すことができます。(55ページ)

- 6 衛星アンテナへの電源供給方法を選び、**決定** を押す



番組データを受信します。

「かんたん設置設定はこれで終わりです。」と表示されたら **決定** を押します。

アンテナの方向調整

「かんたん設定」をしてもデジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買い上げの販売店などにご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向調整をしてください。

以下は地上デジタル放送のアンテナの調整例です。

お知らせ

- 衛星放送の受信レベルは手順2で「衛星」を選び、同様に確認します。
- 視聴中に「**ガイド**」から「アンテナレベル」を選んで受信レベルを確認することもできます。

1 **メニュー** を押し ▲ ▼ で「機器設定」を選び、**決定** を押す

2 ▲ ▼ で「設置設定」を選び、**決定** を押す

3 ▲ ▼ で「受信設定」を選び、**決定** を押す



「受信設定」画面が表示されます。

4 ▲ ▼ で「地上」を選び、**決定** を押す



受信レベルが表示されます。

5 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する
アンテナレベルの増減に応じて、棒グラフが表示されます。



6 アンテナを固定して、**決定** を押す

テレビを見る

リモコンで番組を選ぶ

- 1 リモコンの または本体底面のマルチ操作ボタンを押す
前面の電源ランプが緑色に点灯します。
しばらくすると、前回見ていたチャンネルが表示されます。
- 2 、、 で地上デジタル放送、BS 放送または CS 放送を選ぶ
- 3 数字ボタン (①~⑫)、チャンネルへ▼ボタンまたはチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ
 - チャンネルへ▼ボタンを押すたびにチャンネルが順送りに切り換わります。
 - チャンネル番号を入力するときは、 を押し、3桁のチャンネル番号を入力します。

お知らせ

- を押して「3桁入力選局」を選んでも3桁入力画面が表示されます。

マルチ操作ボタンの機能について

本体底面のマルチ操作ボタンは多機能ボタンです。前後左右および中心を押すことでいくつもの操作を行うことができます。

左：音量-

右：音量+

前：チャンネルへ

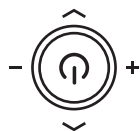
後：チャンネル▼

中心：① 待機状態で短く押すと電源入

② テレビ視聴中に長く押すと待機状態

③ OSD 表示がないときに短く押すと入力切
換

④ OSD 表示があるときに短く押すと項目を
選択



テレビを見る

番組表を見る

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を見ることができます。現在から最大7日先までの放送予定を確認できます。

1 放送視聴中に **番組表** を押す

視聴中の放送の番組表が表示されます。

放送の種類を変更するには **地デジ**、**BS**、**CS** のいずれかを押します。

番組を選んで「決定」を押すと、番組の詳細情報を表示します。

地デジ / **BS** / **CS** ボタンで
番組表を切り替え

表示している番組表
の日にち

現在日時

7チャンネル分の番組表を
表示

6時間分の番組表を表示

メニュー で番組表サブメニュー
を表示

選択中の番組情報



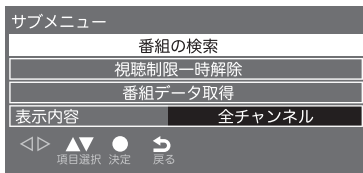
緑 / **黄** ボタンで前日/
翌日に移動

2 番組表を消すには、**戻る**、**番組表** または **終了** を押す

● 番組表サブメニュー

番組表表示中に **メニュー** を押すと、番組表サブメニューが表示され項目を選択できます。

- 番組の検索
- 視聴制限一時解除
- 番組データ取得
- 表示内容



お知らせ

- 「表示内容」で「設定チャンネル」を選ぶと、選局したチャンネルだけの番組表を表示します。あらかじめ「メニュー」⇒「機器設定」⇒「その他の設定」⇒「選局対象」で設定チャンネルを選択しておきます。

テレビを見る

視聴予約を設定する

- 1 放送視聴中に を押す
番組表が表示されます。
- 2 ▲▼◀▶ で予約したい番組を選び、 を押す
- 3 番組説明を確認して、「視聴予約」を選び、 を押す

録画予約

視聴予約

「予約が完了しました」のメッセージが表示され、番組表の予約した番組のボックスに青い マークが付きます。

ご注意

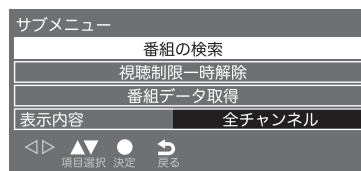
- 視聴予約を設定後、電源を切ると予約は取り消されます。予約された時刻になっても自動で電源は入りません。

● 視聴予約を取り消す

- 1 予約した番組を選び、 を押す
- 2 番組説明を確認して、◀▶ で「予約削除」を選び、 を押す
番組表の予約した番組のボックスの青い マークが消えます。

検索条件を指定して番組を探す

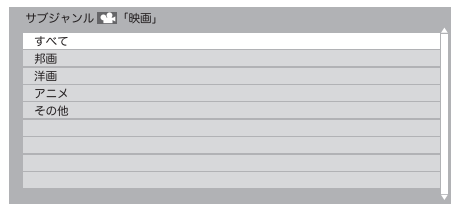
- 1 放送視聴中に を押す
- 2 を押す
- 3 ▲▼ で「番組の検索」を選び、 を押す



- 4 ▲▼ で「ジャンル検索」を選び、 を押す

- 5 検索条件を指定する

- ① ▲▼ でメインジャンルを選び、 を押す
- ② ▲▼ でサブジャンルを選び、 を押す



- 6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を ▲▼ で選び、 を押す

- 7 ▲▼◀▶ で「録画予約／視聴予約」を選び、 を押す

テレビを見る

データ放送を見る

● データ放送とは

- BS デジタル放送や地上デジタル放送では、映像や音声による通常のテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送は「ニュース」や「天気」のように最新情報をタイムリーに提供するサービスと、放送中の番組に関連した情報をその時間帯のみ提供する番組連動型サービスがあります。

● 連動データ放送を楽しむ

テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。


1 を押す

放送局により、表示される内容が異なります。
画面に表示される操作指示に従って操作してください。


2 ▲▼◀▶ で移動し、 を押す

指定した情報が表示されます。

3 を押すと、通常の画面に戻ります

 を押しても終了します。

お知らせ

- 放送画面の操作説明などで、 ボタンは「d ボタン」、「データボタン」、「データ放送ボタン」と表示される場合があります。

● デジタル放送の双方向サービス

インターネット回線を利用し、視聴者側が番組にクイズの回答を送信したり、リクエストをしたりできます。

地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

お知らせ

- デジタル放送の双方向サービスを利用するには、本機裏面の LAN 端子にネットワークケーブルを接続して、「通信設定」でインターネットへの接続を設定する必要があります。
- 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。

テレビを見る

接続した機器の映像を見る（入力切換）

本体背面の外部入力端子に接続した BD プレーヤー、DVD プレーヤーやビデオデッキなどの映像を見るときは、入力切換をします。

1 **入力切換** を押す
「入力切換」画面が表示されます。

2 **入力切換** を繰り返し押して、入力モードを選ぶ

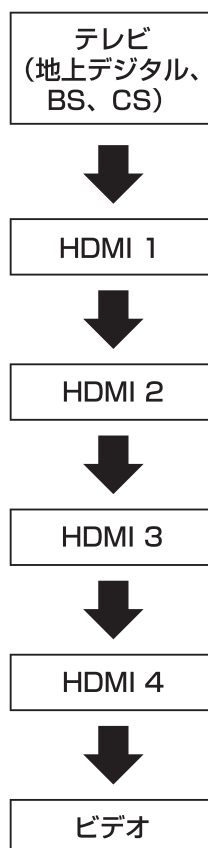


お知らせ

- テレビ視聴中で OSD 表示がないときに本体底面のマルチ操作ボタンを短く押すと入力切換ができます。
- 音量は本機のリモコンで調節します。その他の操作は接続した機器の取扱説明書に従って操作してください。
- 「入力切換」画面で使っていない入力をスキップ（飛び越す）したり、接続機器の種類を表示させたい場合は、44 ページの「入力表示設定」をご覧ください。

テレビの映像を静止させる

1 **一時停止/静止** を押す
解除するときは **一時停止/静止** をもう一度押します。
映像が静止中でも音声は流れ続けます。
静止中は画面右上に **静止** が表示されます。



便利な機能を使う

画面サイズを変える

視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

1 **[メニュー]** を押し ▲▼ で「映像設定」を選び、**[決定]** を押し

2 ▲▼ で「画面の設定」を選び、**[決定]** を押し

映像設定	
MPEG ノイズ低減	強
高度な設定	切
詳細調整	
シネマ設定	
画面の設定	
調整の初期化	

3 ▲▼ で「画面サイズ切替」を選び、**[決定]** を押し

画面の設定	
画面サイズ切替	
オーバースキャン	オン
両横ノイズカット	標準
垂直位置/大きさ	
4 : 3 映像設定	ジャスト

「画面サイズ切替」画面が表示されます。

4 「自動」「フル」「ジャスト」「ノーマル」「ズーム」を選び、**[決定]** を押し

自動
フル
ジャスト
ノーマル
ズーム
サイドカットフル
サイドカットジャスト
サイドカットズーム

自動

自動的に画面サイズを検知して最適なサイズで表示します。お買い上げ時は「自動」に設定されています。

フル

16 : 9 の映像をそのままのアスペクト比で表示します。

ジャスト

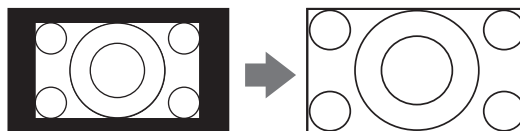
4:3 映像を画面サイズに合わせて拡大します。

ノーマル

4:3 映像をオリジナルのまま表示します。

ズーム

上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。



サイドカットフル

サイドカットした映像をフルで表示します。

サイドカットジャスト

サイドカットした映像の左右の拡大率を多くして、違和感のない映像に拡大します。

サイドカットズーム

サイドカットした映像を画面いっぱいに拡大します。

画面の位置や幅を調整する

画面の表示位置や大きさを調整します。

ご注意

- 「4:3 映像設定」が「ノーマル」の場合は調整できません。
- 映像の種類と画面サイズによっては、調整できない場合があります。

1 **[メニュー]** を押し ▲▼ で「映像設定」を選び、**[決定]** を押し

2 ▲▼ で「画面の設定」を選び、**[決定]** を押し

3 ▲▼ で「垂直位置/大きさ」を選び、**[決定]** を押し

画面の設定	
画面サイズ切替	
オーバースキャン	オン
両横ノイズカット	標準
垂直位置/大きさ	
4 : 3 映像設定	ジャスト

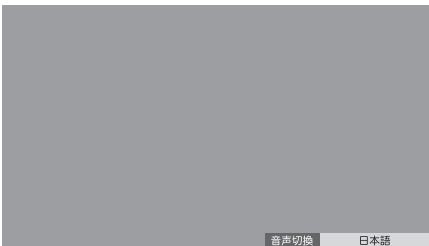
便利な機能を使う

4 ▲▼で垂直位置を、◀▶で画面サイズを調整し、(決定)を押す



音声を切り換える

1 [音声切換]を押す
押すたびに別の音声に切り換わります。



お知らせ

- 受信している放送によって音声切換表示は異なります。

サブメニューで音声切換の設定をする

以下の手順で「信号切換」画面を表示し、設定します。

1 [F12]を押す

2 ▲▼で「信号切換」を選び(決定)を押す
「信号切換」画面が表示されます。

信号切換	
マルチビュー	主番組
映像	映像 1
音声	日本語
二重音声	主
データ	ニュース・天気・
字幕	オン
字幕言語	日本語

- 音声 日本語/英語を選ぶことができます。
- 二重音声 主/副などを選ぶことができます。

消音する

1 [消音]を押す
画面左下に🔇が表示されます。



2 元に戻すには、もう一度[消音]を押す
音量+/-ボタンを押しても音が出ます。

チャンネル情報を見る

[画面表示]を押すと、現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などが表示されます。

1 [画面表示]を押す
チャンネル番号、放送局名、現在時刻、番組名、放送時間などが表示されます。



録画しているチャンネルの画面で「録画中」と表示されます。

しばらくすると、画面上部の番組名は消えて、チャンネルの表示だけになります。

2 表示を消すには、もう一度[画面表示]を押す

便利な機能を使う

字幕を表示する

字幕放送番組で字幕をオンにすると、画面に字幕が表示されます。お買い上げ時は「字幕オフ」に設定されています。

字幕放送番組は、番組表の番組説明に「字」のアイコンが表示されています。

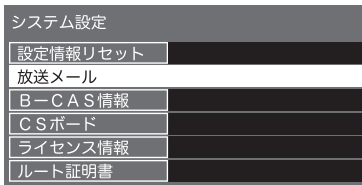
- 1 「字幕」を押す
「字幕」を押すたびにオン/オフを切り換えることができます。
 - 字幕の設定については54ページをご覧ください。

放送メール

放送メールには、「放送局からのお知らせ」と「本機に関するお知らせ」があります。

未読のお知らせがあると、「画面表示」を押したときに画面に「お知らせアイコン」が表示されます。

- 1 「メニュー」を押す
- 2 ▲▼で「機器設定」を選び、「決定」を押す
- 3 ▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す
- 4 ▲▼で「放送メール」を選び、「決定」を押す



- 5 ▲▼で放送メールの種類を選び、「決定」を押す
 - 放送局からのお知らせ ... デジタル放送局からのお知らせです。
 - 本機に関するお知らせ ... 予約などについて本機が発行したお知らせです。

- 6 ▲▼で読みたい放送メールを選び、「決定」を押す

ご注意

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタルが7通まで記憶され、BS デジタルと110度CS デジタルは、合わせて24通まで記憶されます。(放送局の運用によっては、それよりも少ない場合もあります) 記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は既読の古いものから順に削除される場合があります。

CS ボード

110度CS デジタル放送からの視聴者に向けたお知らせです。各50通まで表示されます。

オンタイマーを使う

設定した時刻に本機の電源が「入」になります。オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や時刻情報を取得していない場合には使用できません。

- 1 「メニュー」を押す
- 2 ▲▼で「タイマー設定」を選び、「決定」を押す
- 3 ▲▼で「オンタイマー」を選び、「決定」を押す



便利な機能を使う

4 ▲▼ で設定する項目を選び、(決定) を押す

オンタイマー	
オンタイマー	切
時刻	11:50
音量	20
放送/入力	地上D
チャンネル	011
チャンネル名	NHK総合1・東京

設定を変更する場合は「切」にしてください。

オンタイマー

オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

時刻

◀▶ で移動し数字ボタンで時刻を入力します。

音量

オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定します。

◀▶ で好みの音量を選びます。

放送/入力

▲▼ で「設定しない/地上D/BS/CS/HDMI 1/HDMI 2/HDMI 3/HDMI 4/ビデオ」から選びます。

チャンネル

オンタイマーで電源が「入」になったときに、視聴するチャンネルを設定します。

▲▼ でチャンネルを選びます。

- チャンネル：指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

チャンネル名

設定したチャンネルの放送局名が表示されます。

5 本機の電源を切る

自動で電源が切れるようにする

● オフタイマー

オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

1 (Z) を押す

2 ▲▼ で「オフタイマー」を選び、(決定) を押す

サブメニュー	
HDMI 機器設定	
オフタイマー	オフ
予約一覧	
チャンネル設定	
3行入力選局	
視聴制限一時解除	
アンテナレベル	
枝番選局	
信号切換	
データ放送表示切	

3 ▲▼ で「90分」「60分」「30分」「オフ」から選び (決定) を押す

90分
60分
30分
オフ

お知らせ

- 電源が切れる3分前になると、画面にメッセージが表示されます。
- リモコンの (Z) を押してもオフタイマー画面を表示できません。

● 無操作電源オフ/無信号電源オフ

1 (X) を押す

2 ▲▼ を押して「タイマー設定」を選び (決定) を押す

3 項目を選び ◀▶ で「入/切」を選択する

● 無操作電源オフ

しばらくの間無操作状態が続くと自動で電源が切れて、待機状態になります。

● 無信号電源オフ

しばらくの間信号を受信しない状態が続くと自動で電源が切れて、待機状態になります。

便利な機能を使う

文字を入力する

ハードディスクの表示名を変更するなど文字を入力する場合に、文字入力画面が表示されます。

● 入力モード切換え

緑 (文字切換) を押すと、文字入力モードの切換えが行えます。

- **かな** ひらがなや漢字を入力
- **カナ** カタカナを入力
- **英数** 英字や数字を入力
- **数字** 数字を入力

● 画面キーボードでの文字入力

画面に表示される文字入力キーボードで、**▲▼◀▶** で文字を選び **決定** を押します。

	一	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	かな
改行	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	青 漢字変換
空白	」	よ	う	ん	り	よ	む	ふ	ぬ	つ	ず	く	う	赤 終了
キーボード移動	!	っ	え	、	れ	ゝ	め	へ	ね	て	せ	け	え	緑 文字切換
入力位置移動	?	わ	お	。	ろ	ゝ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	黄 文字クリア

- 青** : 漢字変換 (画面キーボードのみ)
- 赤** : 確定 / 終了
- 緑** : 文字切換
- 黄** : 文字クリア

● リモコンでの文字入力

1 下の表のようにリモコンの1~12で文字を入力する

入力例：らっぱ

[9]、[4](6回)、[6][10](2回)

- ら っ ぱ
- 文字に続けて [10] を押すと、濁点「゛」や半濁点「゜」の入力ができます。
 - 同じボタンで文字を続けて入力するときは、次の文字の入力前に **▶** を押します。
 - 途中で文字を挿入するときは、挿入する箇所から入力します。
 - 入力した文字を削除するときは、**黄** (文字クリア) を押します。

2 文字を確定する

- 漢字に変換しない場合は、**決定** を押します。
 - 漢字変換する場合は、**▼** を繰り返します。変換されたら、**決定** を押します。
- 漢字が見つからない場合は、**◀▶** で再度変換します。

3 入力が完了したら、**決定** を押す

お知らせ

- 文字入力を画面キーボードで行うかリモコンのキーで行うかは「その他の設定」の「文字入力設定」から行うことができます。詳しくは56ページをご覧ください。

● リモコン入力文字一覧

• 最後の候補まで進むと、最初の候補に戻ります。

リモコン	入力文字の種類			
	かな	カナ	英数	数字
1	あいうえおあいうえお1	アイウエオアイウエオ1	@./:~_#\$%*+=^1	1
2	かきくけこ2	カキクケコカキクケコ2	abcABC2	2
3	さしすせそ3	サシスセソ3	defDEF3	3
4	たちつてとっ4	タチツテトッ4	ghiGHI4	4
5	なにぬねの5	ナニヌネノ5	jkIJKL5	5
6	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	mnoMNO6	6
7	まみむめも7	マミムメモ7	pqrPQRS7	7
8	やゆよやゆよ8	ヤユヨヤユヨ8	tuvTUV8	8
9	らりるれろ9	ラリルレロ9	wsyzWXYZ9	9
10	゛゜、。?!・() 0	゛゜、。?!・() 0	-,"?!&¥()<>[]{}0	0
11	わをんわー	ワワンワー	_(スペース)	*
12	逆方向へ入力*1	逆方向へ入力*1	逆方向へ入力*1	#

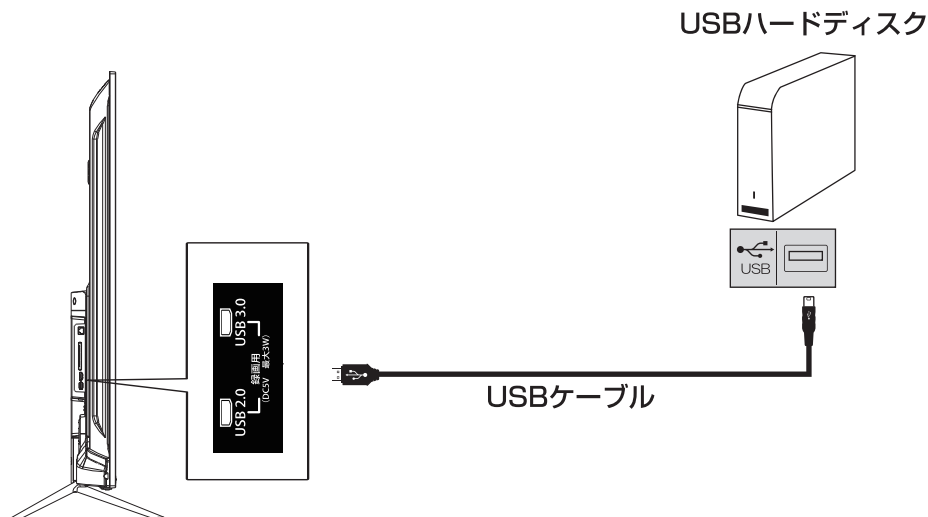
※1 文字入力変換で通り過ぎた場合に、逆方向へ戻ります。

録画の準備

本機に USB ハードディスク（別売り）を接続すると録画や録画予約ができます。

USB ハードディスクを接続する

本機背面の USB 端子（録画用）に接続します。



お知らせ

- 本機に接続できる USB ハードディスクの最大容量は 4TB です。
- 本機に接続できる USB ハードディスクについては、62ページをご覧ください。
- 本機には 8 台までの USB ハードディスクを登録でき、そのうちの 2 台の USB ハードディスクを接続しておくことができます。
- 本機には USB ハブはご使用になれません。

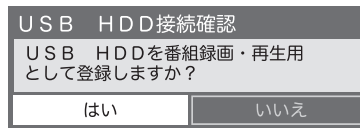
ご注意

- パソコンで使用していた USB ハードディスクを本機に接続して登録すると、保存していたデータはすべて消去されます。
- USB ハードディスクの動作中は、USB ハードディスクの電源を切ったり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因となります。
- ポータブルタイプの USB ハードディスクは正常に動作しない場合があります。必ず AC アダプターで駆動するタイプのハードディスクをお使いください。

新しい USB ハードディスクを登録する

USB ハードディスクを初めて接続したときは、初期化（フォーマット）が必要です。初期化をしないと録画できません。

1 ◀▶ で「はい」を選び、**決定** を押す

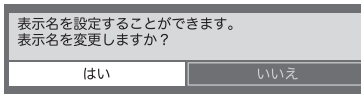


2 このテレビでのみ再生可能であることの確認画面で ▶◀ で「はい」を選び **決定** を押す

3 初期化の確認画面で、▶◀ で「はい」を選び、**決定** を押す 初期化と登録が始まります。

録画の準備

- 4 表示名を変更する場合は、◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す



変更する必要のない場合は「いいえ」を選びます。「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されるので、表示名を入力して**決定**を押します。半角 24 文字まで入力できます。

- 5 登録した USB ハードディスクを録画機器にする場合、◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す
録画や予約をするときに、録画機器の初期候補が登録した USB ハードディスクになります。

ご注意

- 録画中および録画予約が設定されているときは、本機や USB ハードディスクの電源プラグや USB ケーブルを抜かないでください。
- 本機で初期化して登録した USB ハードディスクは本機以外のテレビやパソコンなどでは利用できません。

USB ハードディスクの設定をする

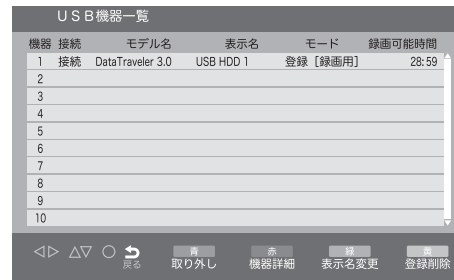
登録した USB ハードディスクの設定の変更、取りはずしのための設定および初期化などができます。

- 1 「メニュー」を押して、「機器設定」→「USB 機器管理」と選ぶ



USB 機器一覧が表示され、接続状態、表示名、録画可能時間などを確認できます。

- 2 設定する USB 機器を▲▼で選び、以降の手順で設定する



● 取り外すとき

青 (取り外し) を押します。登録した機器を取り外すときは、必ずこのボタンを押します。

ご注意

- 本機に接続した USB ハードディスクは、必ずこの操作により安全に取り外してください。安全に取り外しを行わなかった場合、次回接続したときに、機器の認識に時間がかかったり、本機の動作が不安定になったりする可能性があります。

● 機器の詳細を確認するとき

赤 (機器詳細) を押すと、登録した機器のメーカー名や容量などが表示されます。

● 登録を削除するとき

黄 (登録削除) を押し、◀▶で「はい」を選び、**決定**を押します。

● 表示名を変更するとき

緑 (表示名変更) を押し、文字入力画面で入力します。**赤** (終了) を押すと元の画面に戻ります。文字入力画面について詳しくは 30 ページをご覧ください。

録画・予約機能について

録画機能について

● USB ハードディスクに録画できる番組

本機に接続した USB ハードディスクに録画できるのは、地上デジタル放送番組と、BS/110 度 CS デジタル放送番組です。外部入力からの映像、音声については録画できません。

ご注意

- 録画できるのは本機で受信した放送番組です。データ放送の内容は録画できません。

● USB ハードディスクの接続・設定と録画前の準備

接続・設定

- 本機に USB ハードディスクを接続しておきます (31ページ)。

録画前の準備

- USB ハードディスクの残量を確認します。
- 残量不足や番組数超過になりそうな場合は、不要な番組を削除しておきます (38ページ)。

ご注意

- 本機に登録していない USB ハードディスクでは録画できません。
- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できない場合は、上記ページを参照し、接続・設定を確認してください。
- 2 台同時に USB ハードディスクに録画することはできません。
- 本機で動作確認済みの USB ハードディスクについては、62 ページを参照してください。

● 録画・予約の種類

録画・予約の種類	記載ページ
見ている番組を録画する	34ページ
番組表から録画予約する	34ページ
録画する日時を指定して録画予約する	35ページ

ご注意

- USB ハードディスクの最大予約件数は 64 件です。また、最大総番組数は 3000 件です。
- 録画中に、本機や USB ハードディスクの電源プラグを抜いたり (停電なども含む)、USB ケーブルを抜き差ししたりすると、本機や USB ハードディスクの故障の原因になります。USB ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。
- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は残りません。

重要なお知らせ

万一、本機の故障や故障による修理、受信障害などによって録画・録音、録画データの再生ができなくなった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

● 録画可能時間の目安



リモコンの [残量] を押すと接続している USB ハードディスクの残量を確認できます。録画可能時間は表示される時間よりも少なくなることがあります。

- USB ハードディスクの残量時間表示は、BS デジタル放送の HD 放送 (24Mbps) を基準に算出しています。録画可能時間表示はあくまでも目安としてご確認ください。




録画と予約

見ている番組を録画する

現在視聴しているデジタル放送番組を録画します。

- 1 を押す
見ている番組の録画が始まります。
で録画が終了します。

番組表から録画予約する

- 1 を押す
- 2 ▲▼◀▶で録画したい番組を選び、を押す
- 3 番組説明を確認して、◀▶で「録画予約」を選び、を押す





- 視聴予約 指定した番組の視聴予約
- 録画予約 指定した番組の録画予約

- 4 「録画予約設定」画面で「予約する」を選び を押す



「予約する」「毎週予約する」「自動録画する」「詳細設定」から選びます。

- 5 「予約が完了しました。」が表示されたら、を押す
番組表に録画予約済みの赤い  アイコンが表示されます。

お知らせ

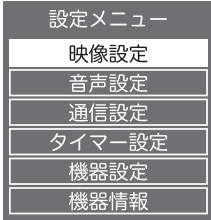
- 番組の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約の確認や取消しについては、36ページをご覧ください。

録画と予約 つづき

録画する日時を指定して録画予約する

1 **[メニュー]** を押す
設定メニューが表示されます。

2 **▲▼** で「タイマー設定」を選び、**[決定]** を押す

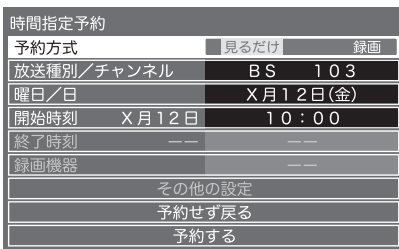


3 **▲▼** で「日時指定予約」を選び、**[決定]** を押す



「時間指定予約」画面が表示されます。

4 録画予約の日時やチャンネルを設定する



① 設定する項目を **◀▶** で選び、**▲▼** で日時を設定する

- 6週間先まで指定できます。
- 設定できる時間は最大12時間です。

② 設定が終わったら、**[決定]** を押す

5 **▲▼** で「予約する」を選び、**[決定]** を押す

6 「予約が完了しました。」が表示されたら、**[決定]** を押す

お知らせ

- 予約の確認や取消しについては、36ページをご覧ください。

録画設定の変更

「詳細設定」より録画の設定内容を変更します。

1 **[番組表]** を押す

2 **▲▼◀▶** で録画予約した番組を選び、**[決定]** を押す

3 **◀▶** で「設定変更」を選び、**[決定]** を押す
「予約削除」を選択すると予約を取り消すことができます。

4 **▲▼** で「詳細設定」を選び、**[決定]** を押す

5 以下の項目から変更したい項目を選んで変更する

- 予約方式.....「見るだけ」「録画」を **◀▶** で選びます。
- 録画機器.....複数のUSBハードディスクを接続しているときに、録画先を選びます。
- その他の設定...「録画番組のプロテクト」で録画する番組を消さないよう保護できます。プロテクトされた録画番組は録画一覧に **🔒** が表示されます。
- 時間指定予約...録画終了時間を設定できません。

録画と予約 つづき

録画を中止する

録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

● 視聴している番組を録画中のとき

- 1 **停止** を押す
録画が停止します。

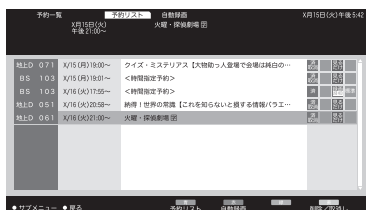
● 録画予約で録画中のとき

- 1 **停止** を押す
録画の中止を確認するメッセージが表示されます。
- 2 **◀▶** で「はい」を選び、**決定** を押す
録画が停止します。

予約の確認・取消しをする

録画予約した内容の確認、取り消しができます。

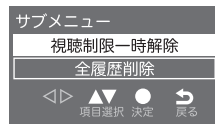
- 1 **ザグユ** を押す
サブメニューが表示されます。
- 2 **▲▼** で「予約一覧」を選び、**決定** を押す
予約リストが表示されます。
- 3 **▲▼** で予約を確認する番組を選び、**決定** を押す
- 4 予約を取り消すときは、**◀▶** で「予約削除」を選び、**決定** を押す
予約が取り消されます。



● 予約リストサブメニュー

予約リストが表示されているときに **ザグユ** を押すと、予約リストサブメニューが表示され以下の項目が選択できます。

- 視聴制限一時解除
- 全履歴削除



録画予約に関するお知らせ

● 録画予約と他の録画や視聴予約が重なった場合、「録画予約」が優先

録画予約と他の録画や視聴予約が重なった場合、録画予約が最優先され、他の録画や視聴予約は中止、または取り消しとなります。

録画予約	優先1位		
●○からの録画 録画	×	優先2位	
視聴予約	×	×	優先3位

録画した番組を再生する

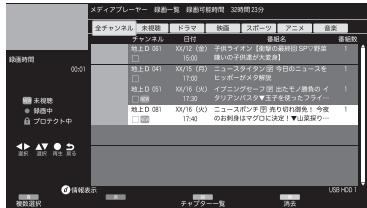
録画番組を再生する

USB ハードディスクに録画・保存されている番組を見るには、以下の操作をします。

● 再生の基本操作

1 (録画) を押す

録画一覧が表示されます。



録画一覧には、番組の簡単な情報や、USB ハードディスクへの録画可能時間などが表示されます。

- 録画一覧には以下のアイコンが表示されます。
 - NEW：未視聴
 - ：録画中
 - 🔒：プロテクト中
- (録) (チャプター一覧) を押すと選んだ番組のチャプター一覧が表示されます。

2 ▲▼で見たい番組を選び、(決定) を押す

どこから再生するかの確認画面が表示されたら ◀▶で「続きから再生」「最初から再生」を選び (決定) を押します。

- 選んだ番組の再生が始まります。(再生されるまでに時間がかかる場合があります)
- 番組の最後まで再生が終わると、そのまま静止状態になり、しばらくすると録画一覧に戻ります。
- 再生中にできるリモコン操作については、38 ページを参照してください。

3 再生を停止させるには、(停止) を押す

- 録画一覧の画面に戻ります。
- 録画番組の再生を終了するときは、(終了) を押すか、または選局の操作などをします。

ご注意

- 電源を入れた直後は USB ハードディスクの認識に時間がかかることがあり、すぐに録画一覧が開かない場合があります。その場合は、しばらく待ってから再度録画一覧を開いてください。
- 本機で録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ（同じ形式のテレビも含む）では再生できません。
- USB ハードディスクに録画した番組を再生中に、本機や USB ハードディスクの電源プラグを抜いたり（停電なども含む）、USB ケーブルを抜き差ししたりすると、本機や USB ハードディスクの故障の原因になります。USB ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。

● 録画中の番組を再生する

録画が終了するまで待たずに、録画中の番組の冒頭から再生します。

- 録画中の番組を選び、(決定) を押す

お知らせ

録画一覧について











- 録画開始直後の番組は、録画一覧に表示されるまで少し時間がかかります。

● 録画番組の情報や番組説明を見る


- 再生中に (画面表示) を押す
再生中の番組の情報が表示されます。
- 表示を消すには、もう一度 (画面表示) を押す

録画した番組を再生する

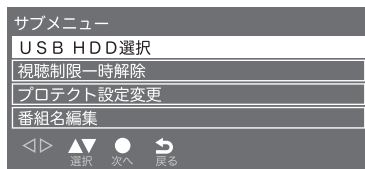
● 録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内容
	録画番組の再生を開始します。
	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
	再生を停止し、録画一覧に戻ります。
	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります)
	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります)
	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。
	再生中に押すと10秒ほど戻って再生します。
	前のチャプターまでスキップします。
	次のチャプターまでスキップします。
	USBハードディスクの録画可能な残量を確認できます。
	再生中に押すと、録画一覧が表示されます。

● 録画一覧サブメニュー

録画一覧を表示中に  を押すと、録画一覧サブメニューが表示され以下の項目が選択できます。

- USB HDD 選択
- 視聴制限一時解除
- プロテクト設定変更
- 番組名編集










録画した番組を保護する

録画した番組を誤って削除しないように保護できます。

* 録画中にこの操作はできません。


1  を押す




2   で保護する番組を選び、 を押して   で「プロテクト設定変更」を選び、 を押す

- 選んだ番組が保護されます。( がつきます)
- 同じ操作でプロテクトを解除できます。


録画した番組を削除する

1  を押す

2   で削除する番組を選び、 (消去) を押す

3 確認画面で、  で「はい」を選び、 を押す

● 複数選択して削除する

1 録画一覧の画面で  (複数選択) を押す
選んだ番組のチェックボックスにチェックが入ります。

2  (消去) を押し、  で「はい」を選んで  を押す

外部機器を接続する

ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのプラグを、本機の音声出力端子に接続します。

ご注意

- 鼓膜の保護のためヘッドホン音量を上げ過ぎないように注意してください。

お知らせ

- ヘッドホンを接続したときは、「音声同時出力」で本機のスピーカーからも同時に音を出すか出さないかの設定ができます。同時に出す設定にしたときは、ヘッドホンの音量は「音量調整」で調整します。詳しくは52ページをご覧ください。

外部機器の映像と音声を本機で再生する

DVD プレーヤー、BD プレーヤー、オーディオ機器やビデオカメラ、ゲーム機などの AV 機器を接続して、本機で楽しむことができます。

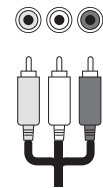
高精細、高画質に対応した出力端子に接続するとより画質の高い映像が楽しめます。接続する機器の出力端子に応じて、最適な接続方法をお選びください。



高

映像画質

標準



音声/映像 (AV)

ご注意

- 接続する機器の取扱説明書をご確認のうえ接続してください。
- 接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プラグは奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全だと、ノイズが発生する原因となります。

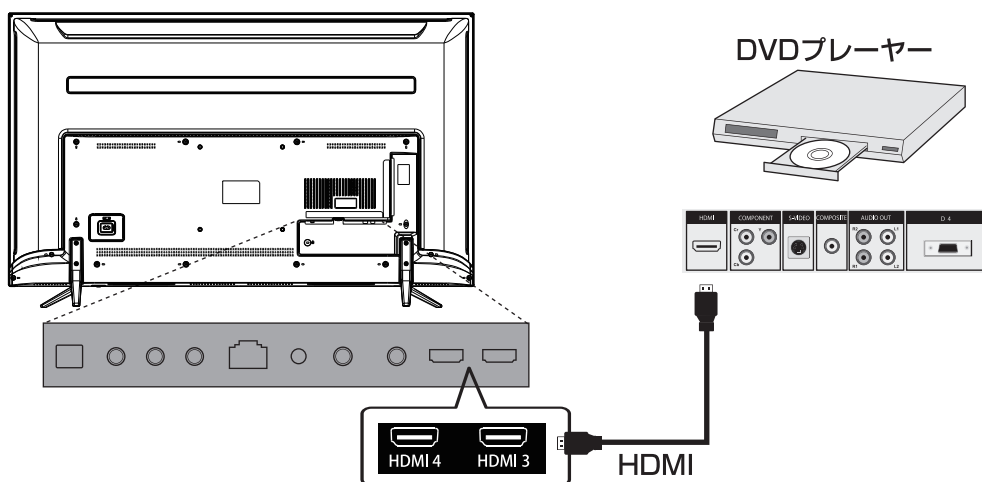
お知らせ

- 本機には接続に使用するケーブル類は付属していません。外部機器を接続する際は、あらかじめ必要なケーブル類をご確認のうえ、お客様にてご用意ください。

外部機器を接続する つづき

● HDMI 入力端子を使う場合

HDMI 端子のある DVD プレーヤー、ケーブル TV や衛星放送のセットトップボックスなどを接続できます。HDMI ケーブルを接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。

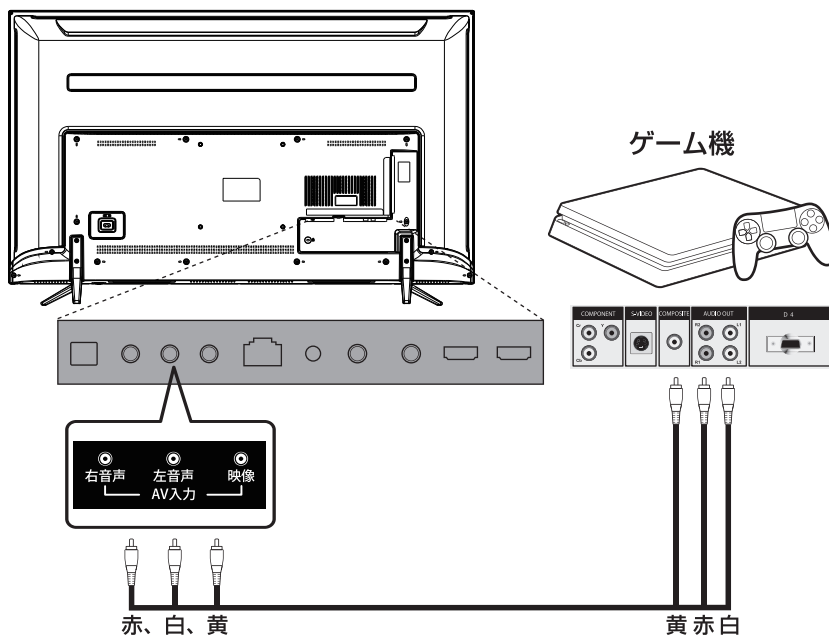


お知らせ

- HDMI の標準技術規格に対応した機器をお使いください。
- 本機の音声を外部機器に出力する場合は、HDMI 2 入力端子（ARC 対応）をお使いください。
- 4K 映像を正しく伝送するためには「プレミアム HDMI ケーブル」認証された HDMI ケーブルをご使用になることをお勧めします。
- 映像がうまく映らない場合は HDMI モードを切り替えてください。詳しくは 43 ページをご覧ください。

● AV 入力端子を使う場合

ゲーム機、ビデオカメラなど AV 出力端子を持つ外部機器は、AV（RCA）ケーブルで本機の AV 入力端子に接続します。



外部機器を接続する つづき

オーディオ機器にデジタル音声を出力する

本機の光デジタル音声出力端子に、AV アンプなどの光デジタル音声入力を接続することで、臨場感のある高音質な音声を楽しむことができます。

● ミニコンボなどにつなぐとき

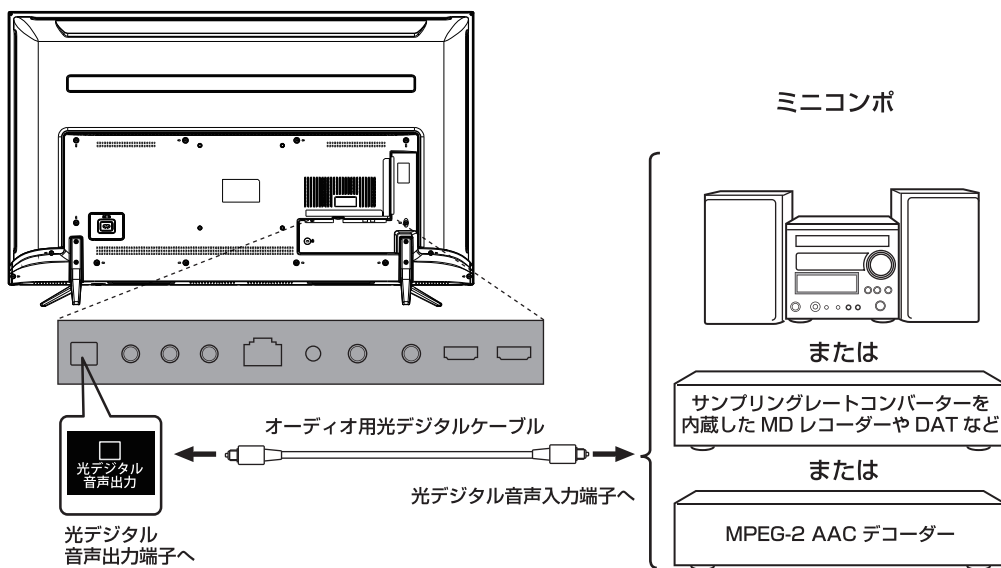
- 本機の音量を最小に調整し、ミニコンボなどの音響システム側で音量を調節してご使用ください。
- 音響システム側が対応しているデジタル音声入力に従って、52ページの「デジタル音声出力の設定」をします。

● MD レコーダーや DAT につなぐとき

- サンプリングレートコンバーターを内蔵した MD レコーダーや DAT の光デジタル音声入力端子につなげば、高音質で録音して楽しむことができます。
- 52ページの「デジタル音声出力の設定」で「PCM」を選びます。

● MPEG-2 AAC デコーダーにつなぐとき

- デジタル放送の MPEG-2 AAC 方式の信号を、MPEG-2 AAC デコーダーで楽しむことができます。
- 52ページの「デジタル音声出力の設定」で「自動」または、「ビットストリーム」を選びます。



外部機器を接続する

お知らせ

- 光デジタルケーブルのプラグには 2 種類の形状があります。接続する機器の形状に合ったケーブルをご用意ください。

外部機器を接続する つづき

● デジタル音声出力の設定

光デジタル音声出力端子や HDMI 2 入力端子から出力する音声信号を設定します。

お買い上げ時は「PCM」に設定されています。MPEG-2 AAC デコーダーや AAC デコーダー内蔵アンプをつなぐときは「自動」または「ビットストリーム」に設定します。

1 **メニュー** を押し ▲▼ で「音声設定」を選び、**決定** を押し

「音声設定」画面が表示されます。

2 ▲▼ で「デジタル音声出力」を選び、**決定** を押し

音声設定	
音声調整	標準
低音	0
高音	0
イコライザー	
バランス	0
サラウンド	オフ
ヘッドホン音量	25
音量自動調整	オフ
入力音量補正	0
デジタル音声出力	自動

3 ▲▼ で信号を選び、**決定** を押し

音声設定	
音声調整	標準
低音	0
高音	0
イコライザー	
バランス	0
サラウンド	オフ
ヘッドホン音量	25
音量自動調整	オフ
入力音量補正	自動
デジタル音声出力	PCM ビットストリーム

自動

サラウンド音声とリニア PCM の信号が自動で識別されます。

PCM

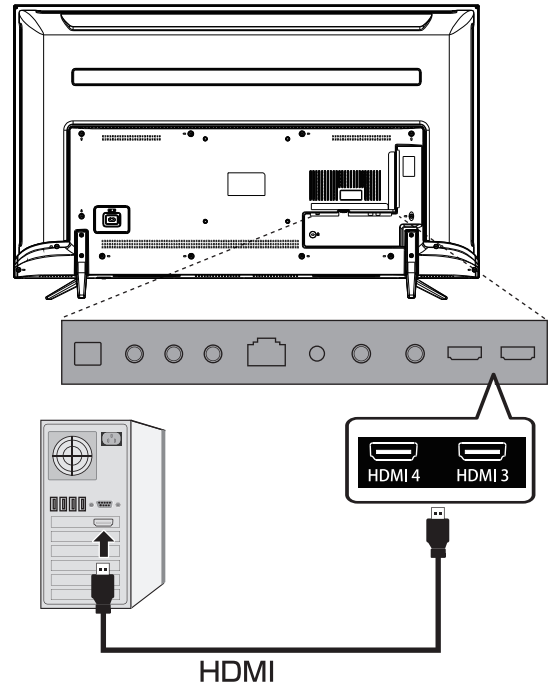
リニア PCM 信号が出力されます。

ビットストリーム

デジタル信号がそのまま伝達され、高音質な音声出力されます。

パソコンを接続する

HDMI 端子のあるパソコンを接続して、本機の液晶画面をパソコンのモニターとして使うことができます。



ご注意

- 接続するパソコンの取扱説明書をご覧のうえ、対応出力フォーマットなど仕様をご確認ください。
- 接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。

お知らせ

- パソコンを接続する前に、パソコンの取扱説明書を確認し、テレビで表示できる画面設定（解像度、周波数）に変更してください。

外部機器を接続する つづき

HDMI 設定

1 **メニュー** を押し ▲▼ で「機器設定」を選び、**決定** を押す

2 ▲▼ で「HDMI 設定」を選び、**決定** を押す

機器設定	
USB 機器管理	
録画設定	
視聴制限設定	
表示の設定	
HDMI 設定	
HDMI モード	
かんたん設定	
設置設定	
システム設定	
その他の設定	

3 ▲▼ で設定する項目を選んで **決定** を押し、右表の手順で設定する

HDMI 設定	
HDMI 連動	オン
電源入連動	オフ
電源切連動	オン
自動切	オフ
レコーダ操作	通常

4 **戻る** を押す

● HDMI 連動

HDMI の各種連動制御を使用するかどうかを設定します。

① ▲▼ で「オン」または「オフ」を選び、**決定** を押します。

● 電源入連動

連動機器の電源を入れたときに、本機に自動的に電源が入ります。

① ▲▼ で「連動する」または「連動しない」を選び、**決定** を押します。

● 電源切連動

本機の電源を切ったときに、連動機器の電源が自動的にオフになります。

① ▲▼ で「連動する」または「連動しない」を選び、**決定** を押します。

● 自動切

HDMI での操作が終わると連動機器の電源だけが自動的にオフになります。

① ▲▼ で「オン」または「オフ」を選び、**決定** を押します。

● レコーダ操作

HDMI レコーダーを操作するときに設定します。

「拡大」を選ぶと、HDMI レコーダーの種類に応じて、操作に有効なボタンが追加されます。

HDMI モード

HDMI 接続をした外部機器との伝送信号のフォーマットを変更します。

1 「機器設定」画面で ▲▼ で「HDMI モード」を選び **決定** を押す

2 ▲▼ で設定する HDMI を選び、「モード 1/モード 2」を選んで **決定** を押す

HDMI モード	
HDMI 1	モード 1
HDMI 2	モード 2
HDMI 3	モード 1
HDMI 4	モード 1

モード 1 : 4K/60P

モード 2 : 4K/30P

お知らせ

- 4K 映像を正しく伝送するためには「プレミアム HDMI ケーブル」認証された HDMI ケーブルをご使用になることをお勧めします。
- 映像がうまく映らない場合は HDMI モードを切り替えてください。

外部機器を接続する つづき

入力表示設定

入力切替をするときに、使っていない入力をスキップ（飛び越す）したり、接続機器の種類を表示させたりできます。

1 **[メニュー]** を押し ▲▼ で「機器設定」を選び、**[決定]** を押す

2 ▲▼ で「表示の設定」を選び、**[決定]** を押す

3 ▲▼ で「入力表示」を選び、**[決定]** を押す

表示の設定	
字幕の設定	
入力表示	
タイトル表示	オン
時計表示	オフ

4 ▲▼ で「HDMI 1」「HDMI 2」「HDMI 3」「HDMI 4」「ビデオ」から表示を変更する外部入力を選び、**[決定]** を押す

入力表示	
HDMI 1	HDMI 1
HDMI 2	HDMI 2
HDMI 3	HDMI 3
HDMI 4	HDMI 4
ビデオ	ビデオ

5 ▲▼ で表示したい名称または「使用しない（スキップ）」を選び、**[決定]** を押す

HDMI 1
使用しない（スキップ）
ブルーレイ
DVD
レコーダー
ゲーム
CATV
チューナー
表示なし

以下の項目が選べます。

- HDMI 1 / HDMI 2 / HDMI 3 / HDMI 4 / ビデオ（変更なし）
- 使用しない（スキップ）
- ブルーレイ
- DVD
- レコーダー
- ゲーム

- CATV
- チューナー
- 表示なし

<変更後 **[入力切替]** を押したときの表示>

入力切替	
テレビ	
HDMI 1	
HDMI 2 [ブルーレイ]	
HDMI 3	
HDMI 4	
ビデオ	

HDMI スピーカー選択設定

音声を本機のスピーカーで再生するか、接続した HDMI 機器で再生するかを設定します。

1 **[設定]** を押し ▲▼ で「HDMI 機器設定」を選び、**[決定]** を押す

サブメニュー	
HDMI 機器設定	
オフタイマー	オフ
予約一覧	
チャンネル設定	
3桁入力選局	
視聴制限一時解除	
アンテナレベル	
枝番選局	
信号切替	
データ放送表示切	

2 「HDMI 機器選択」で HDMI 機器を選び、**[決定]** を押す

HDMI 機器設定	
HDMI 機器選択	HDMI
スピーカー選択	TV

3 「スピーカー選択」で「TV」か「外部」を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

- 本機の音声を外部機器に出力する場合は、HDMI 2 入力端子（ARC 対応）をお使いください。

外部機器を接続する つづき

インターネット接続

本機背面の LAN 端子にネットワークケーブルをつなぐと、双方向通信のデータ放送や独立データ放送などをお楽しみいただけます。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに「通信設定」をします。

1 **メニュー** を押し ▲▼ で「通信設定」を選び、**決定** を押す

「通信設定」画面が表示されます。

2 ▲▼ で「ネットワーク接続」を選んで **決定** を押す



3 「かんたん設定／詳細設定」を選んで **決定** を押す



「詳細設定」を選んだ場合は手順 4 に進みます。

4 以下の手順に従って設定する

本機の名前/IPアドレス/DNS設定	
本機の名前変更	Japan TV
IPアドレス	自動取得
IPアドレス	
サブネットマスク	
ゲートウェイ	
DNSアドレス	自動取得
DNS	
プロキシ設定	

● 本機の名称変更

ネットワーク上で表示する本機の名称を変更したいときに設定します。

● IPアドレス

インターネットに接続するために本機に割り当てられる、固有の番号を設定します。

※「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定してください。

1 ▲▼ で「IPアドレス」を選び、**決定** を押す

2 IPアドレスを自動取得できる場合は、▲▼ で「自動取得」を選ぶ

＜IPアドレスを自動取得できないネットワーク環境の場合＞

① ▲▼ で「手動設定」を選ぶ

② ▲▼ で「IPアドレス」を選び、**1** ～ **1070** で入力する

③ ▲▼ で「サブネットマスク」を選び、**1** ～ **1070** で入力する

④ ▲▼ で「ゲートウェイ」を選び、**1** ～ **1070** で入力する

• ②～④では0～255の範囲の数字（左端の欄は0以外）を4箇所の欄に入力します。

• ▲▼▶ で選び、**1** ～ **1070** で番号入力、◀ で訂正、**決定** で設定完了。

3 **決定** を押す

● DNSアドレス

ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

※「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。DNSアドレスを手動で設定してください。

1 ▲▼ で「DNSアドレス」を選び、**決定** を押す

2 DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲▼ で「自動取得」を選ぶ

＜DNSアドレスを自動的に割り当てられないネットワーク環境の場合＞

① ▲▼ で「手動設定」を選ぶ

② ▲▼ で「DNS」を選び、**1** ～ **1070** で入力する

• ②では0～255の範囲の数字（左端の欄は0以外）を4箇所の欄に入力します。

• 欄を移動するには、◀▶ を押します。

3 **決定** を押す

● プロキシ設定

インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。



- ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。
- ここでのプロキシ設定は HTTP に関するものです。

1 ▲▼で「プロキシ設定」を選び、を押す

2 ▲▼で「アドレス」を選び、を押す

3 HTTP プロキシアドレスを入力し、を押す


- 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角です。

4 ▲▼で「ポート番号」を選び、～でポート番号を入力する

5 を押す

ネットワーク状態を確認する

インターネットに正しく接続しているかどうかテストします。

1 「通信設定」画面で「ネットワーク状態」を選んでを押す

接続テスト結果が表示されます。

<正しく接続されなかったときは>

再接続確認を行ってください。再接続確認を行っても接続できないときは、「ネットワーク接続」からやり直してください。

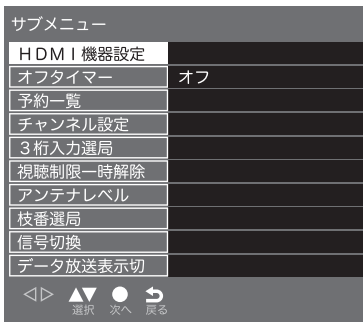
サブメニュー画面

本機では、設定メニュー画面とサブメニュー画面から、さまざまな設定ができます。

サブメニュー画面

設定画面まで移動しなくても、簡単な設定ができたり、表示している画面に応じたサブメニューで便利な操作を行ったりすることができます。

- 1 OSD表示がないときに **[FACU]** を押す
サブメニュー画面が表示されます。



● HDMI 機器設定

HDMI の各機器やスピーカーを選択します。詳しくは44ページをご覧ください。

● オフタイマー

自動で電源を切るよう設定できます。詳しくは29ページをご覧ください。

● 予約一覧

視聴予約、録画予約の一覧リストを表示します。詳しくは36ページをご覧ください。

● チャンネル設定

受信できるチャンネルを設定します。詳しくは55ページをご覧ください。

● 3桁入力選局

数字ボタンで3桁を入力して選局します。



● 視聴制限一時解除

視聴制限を一時的に解除します。

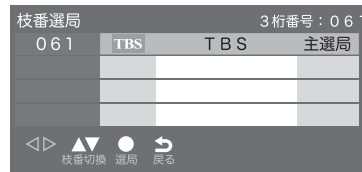
● アンテナレベル

現在視聴中の放送局の受信レベルを確認します。



● 枝番選局

現在視聴中の放送局の枝番選局ができます。



● 信号切換

現在視聴中の番組の映像や音声を切り換えます。



● データ放送表示切

この項目が表示されている場合は、データ放送の表示を中止できます。

お知らせ

- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- **[戻る]** を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

● その他のサブメニュー

● 番組表サブメニュー

詳しくは22ページをご覧ください。

● 予約リストサブメニュー

詳しくは36ページをご覧ください。

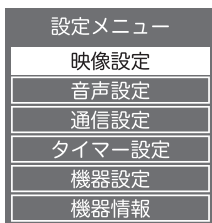
● 録画一覧サブメニュー

詳しくは38ページをご覧ください。

設定メニュー一覧

設定メニュー画面

- 1 **メニュー** を押す
設定メニュー画面が表示されます。



お知らせ

- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- **戻る** を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

● 設定メニュー一覧

分類	設定内容	設定項目	ページ	
映像設定	お好みに合わせて映像を設定したり画質を調整したりできます。	画質動作選択	49	
		画面の明るさ		
		周囲の明るさ		
		暗部調整		
		色の濃淡		
		色あい		
		輪郭強調		
		色温度		
		動的コントラスト		
		ノイズ低減		
		MPEG ノイズ低減		
		高度な設定		50
		詳細調整		
		シネマ設定		
画面の設定				
	調整の初期化			

分類	設定内容	設定項目	ページ
音声設定	お好みに合わせて音声を設定したり音質を調整したりできます。	音声調整	51
		低音	
		高音	
		イコライザー	
		バランス	
		サラウンド	
		ヘッドホン音量	52
		音量自動調整	
		入力音量補正	
		デジタル音声出力	
	音声同時出力		
	調整の初期化		
通信設定	双方向サービスを利用するために必要なインターネットへの接続を設定します。	ネットワーク接続	45
		ネットワーク状態	46
タイマー設定	日時を指定した録画予約や自動で電源を入れたり切ったりする設定をします。	日時指定予約	35
		オンタイマー	28
		無操作電源オフ	29
		無信号電源オフ	
機器設定	外部機器の設定や本機のシステム設定などをします。	USB 機器管理	53
		録画設定	
		視聴制限設定	
		表示の設定	54
		HDMI 設定	43
		HDMI モード	
		かんたん設定	55
		設置設定	
		システム設定	56
		その他の設定	
機器情報	本機の ID 情報を表示します。	ID 表示	—

お好みの映像設定

- 映像設定メニューは、視聴している番組の種類とお好みに応じて最適な設定を行うために使用されます。
- 映像設定メニューは、すべての放送種類及びすべての入力ソースに対して個別設定することができます。

メニューを押して設定メニュー画面の「映像設定」を選んで決定を押します。



現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI）の映像を、お好みの画質に調整できます。

お知らせ

- 項目によっては選択できないものがあります。

画質動作選択

あらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。



- **自動**
受信信号に合わせて画質を自動で調整します。
- **鮮やか**
日中の明るい場所で見るのに適した設定です。
- **標準**
落ち着いた雰囲気で見るときに適した設定です。
- **居間**
明るいリビングで見るときに適した設定です。
- **映画**
映画を見るときに適した設定です。
- **映画プロ**
暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。
- **おこのみ**
映像をお好みの画質に調整します。

画質の調整

お好みに合わせて画質を調整できます。

- **画面の明るさ**
バックライトの明るさを調整します。
- **周囲の明るさ**
設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。
- **暗部調整**
設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。
- **色の濃淡**
設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。
- **色あい**
設定値が低いと紫っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。
- **輪郭強調**
設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。
- **色温度**
「高／中／低」で正確な色を再現できるよう調整します。高は寒色系に、低は暖色系になります。
- **動的コントラスト**
暗い画面で光量を小さくする調整をします。「オン／オフ」から選びます。
- **ノイズ低減**
映像の乱れを少なくします。「自動／強／中／弱／オフ」から調整します。
- **MPEG ノイズ低減**
DVD やハードディスクレコーダーの長時間録画モードの映像などに出やすいノイズを軽減します。「強／中／弱／オフ」から調整します。

お好みの映像設定 つづき

高度な映像調整

映像をより詳細に調整したいときに設定します。

- 高度な設定
「入」を選ぶと、以下の詳細調整ができます。

● 詳細調整

詳細調整	
黒伸長	8
ホワイトバランス	
ガンマ設定	
調整の初期化	

- 黒伸長
ばらつきの多い黒レベルを一定に揃えます。0 から 15 の間で調整します。
- ホワイトバランス
RGB それぞれのゲインとそれぞれのカットオフを -50 から +50 の間で微調整します。

ホワイトバランス	
Rゲイン	0
Gゲイン	0
Bゲイン	0
Rカットオフ	0
Gカットオフ	0
Bカットオフ	0
調整の初期化	

- ガンマ設定
映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを 1.8 から 2.6 までの 5 段階から調整します。

お知らせ

- 選択中の画質の動作によっては、高度な映像調整、詳細調整は行えない場合があります。

シネマ設定

よりリアルに映画を楽しめるシネマリアリティの「オン/オフ」を設定します。

画面の設定

画面のサイズや位置などを調整します。

画面の設定	
画面サイズ切替	
オーバースキャン	オン
両横ノイズカット	標準
垂直位置/大きさ	
4:3 映像設定	ジャスト

- 画面サイズ切替
番組に適した画面サイズを選びます。詳しくは 34 ページをご覧ください。
- オーバースキャン
映像の周辺部が映らないようカットする機能です。
- 両横ノイズカット
画面両横に見られる映像ノイズを調整します。
- 垂直位置/大きさ
画面の表示位置や大きさを調整します。詳しくは 26 ページをご覧ください。
- 4:3 映像設定
4:3 映像の画面を「ノーマル/ジャスト」から選んで設定します。

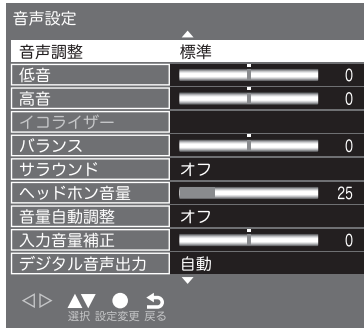
調整の初期化

映像調整を出荷時の状態に戻します。確認画面で「はい」を選びます。

お好みの音声設定

- 音声メニューは、音声出力を最適化し最高の音声再生設定を行うために使用されます。
- 音声メニューは、すべての放送の種類とすべての入力ソースに対して設定することができます。

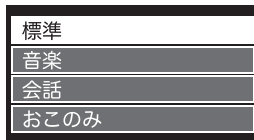
[メニュー] を押し設定メニュー画面の「音声設定」を選んで [決定] を押します。



現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI）の音声を、お好みの音質に調整できます。

音声調整

あらかじめシーンに合わせた音声設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。



- **標準**
ほとんどのシーンに合う一般的な設定です。
- **音楽**
音楽シーンに適した設定です。
- **会話**
人の音声聞き取りやすくなる設定です。
- **おこのみ**
音声をお好みの音質に調整します。

音質の調整

お好みに合わせて音質を調整できます。

- **低音**
設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します。
- **高音**
設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します。
- **イコライザー**
特定の周波数域を増幅、減衰することにより音質を調整します。「音声調整」を「おこのみ」に設定したときにだけ有効になります。
- **バランス**
左右の音声出力のバランスを調整します。設定値が小さいほど左側を、設定値が大きいほど右側を強調します。
- **サラウンド**
ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。「オン」「オフ」で切り換えます。

お好みの音声設定 つづき

音量調整

ヘッドホン音量や入力音量の補正を設定します。

- **ヘッドホン音量**

ヘッドホン音量  25

ヘッドホンで聞くときの音量を 0 から 100 の間で設定します。出荷時は 25 に設定されています。

- **音量自動調整**

「オン/オフ」から設定します。

- **入力音量補正**

音量を -6 から +6 の間で調整します。

ご注意

- 鼓膜の保護のためヘッドホン音量を上げ過ぎないように注意してください。

デジタル音声出力

光デジタル音声出力端子や HDMI 2 入力端子から出力する音声信号を設定します。詳しくは42ページをご覧ください。

音声同時出力

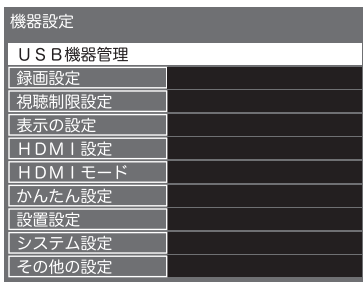
音声を外部機器とテレビから同時に出力するかを設定します。

調整の初期化

音声調整を出荷時の状態に戻します。確認画面で「はい」を選びます。

機器設定

[メニュー] を押し設定メニュー画面の「機器設定」を選んで [決定] を押します。



機器設定メニューでは外部機器の設定や初期設定、システム設定などができます。

USB 機器管理

USB 機器一覧を表示し、取り外しや登録の削除などができます。詳しくは 32 ページをご覧ください。



録画設定

録画をするときの設定をします。



• 自動予約

録画予約した番組の次回の録画を自動で予約するかどうかを「オン/オフ」で設定します。

• 録画ボタン設定

録画ボタンを押して録画したときの録画終了時間を「番組終了 / 3 時間録画」から設定します。

• オートチャプター

録画一覧の画面で表示するチャプターを自動で作成するかを「オン/オフ」で設定します。

• USB HDD 待機

USB 機器を待機状態にするかどうかを「オン/オフ」で設定します。

視聴制限設定

視聴制限の設定をします。



● 視聴年齢の制限を設定する

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号を設定した状態で、以下の設定をする必要があります。

1 「視聴制限設定」画面で「視聴制限設定」を選び、[決定] を押す

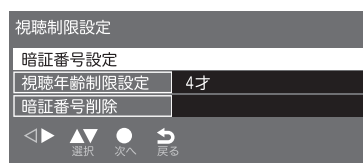
暗証番号を入力する画面が表示されます。

2 [1]~[10/0] で暗証番号を入力する



3 [◀▶] で年齢を設定し、[決定] を押す

設定できる年齢は、4 才から 20 才までです。



● 暗証番号を設定・変更する

視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号の設定が必要です。

1 「視聴制限設定」画面で「暗証番号設定」を選び、[決定] を押す

暗証番号を入力する画面が表示されます。

暗証番号を変更する場合は、すでに設定されている暗証番号を入力します。

機器設定 つづき

2 ①~⑩/0で新しく設定する暗証番号を入力する



3 確認のため、新しく設定する暗証番号をもう一度入力する

4 (決定) を押す
暗証番号が設定されます。

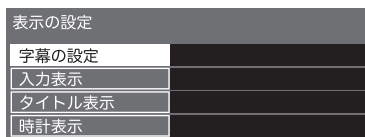
● 暗証番号を削除する

1 「視聴制限設定」画面で「暗証番号削除」を選び、(決定) を押す

2 ①~⑩/0で現在設定されている暗証番号を入力する
確認画面が表示されます。

3 ◀▶で「はい」を選び、(決定) を押す
暗証番号が削除されます。

表示の設定



● 字幕の設定をする

字幕の日本語／英語表示を切り換えます。

1 「表示の設定」画面で「字幕の設定」を選び、(決定) を押す
「字幕の設定」画面が表示されます。



2 ▲▼で「字幕」を選び、「オン／オフ」を選び (決定) を押す

3 ▲▼で「字幕言語」を選び、「日本語／英語」を選び (決定) を押す

● 文字スーパーの設定をする

文字スーパーの設定をします。

1 「表示の設定」画面で「字幕の設定」を選び、(決定) を押す

2 ▲▼で「文字スーパー」を選び、「オン／オフ」を選び (決定) を押す

3 ▲▼で「文字スーパー言語」を選び、「日本語／英語」を選び (決定) を押す

● その他の表示の設定

● 入力表示

入力切換をするときに表示される外部入力機器を設定します。詳しくは44ページをご覧ください。

● タイトル表示

画面表示を押したときに番組タイトルを表示するか「オン／オフ」で設定します。

● 時計表示

画面左下に時計を表示するかを設定します。

HDMI 設定

HDMI 機器を接続したときの動作を設定します。詳しくは43ページをご覧ください。

HDMI モード

HDMI 機器を接続したときの伝送フォーマットを設定します。詳しくは43ページをご覧ください。

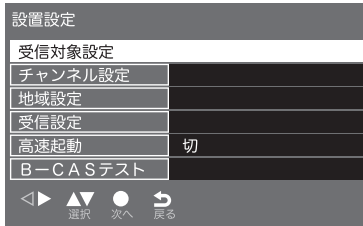
機器設定 つづき

かんたん設定

引越しなどでお住まいの地域が変わったときには「かんたん設置設定」を行ってください。詳しくは19ページをご覧ください。

設置設定

本機を設置するときに設定します。

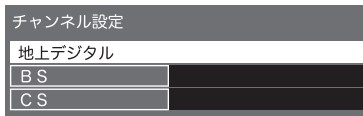


● 受信対象設定

BSとCSを「使う／使わない」から選びます。



● チャンネル設定



● 地上デジタル／BS／CS

引越した場合などこのメニューからチャンネルを設定します。状況に応じて「初期スキャン」か「再スキャン」を選びます。

購入後初めて設定する場合や違う地域に引っ越した場合は、「初期スキャン」を選びます。現在の内容がクリアされ、自動的に受信できるチャンネルをスキャンし、設定します。

「再スキャン」を選ぶと、スキャン後にすべてを設定し直すか、現在の設定に追加するかを選択できます。手動で設定するときは「マニュアル」を選びます。

● チャンネル設定修正

①～⑫に、どのチャンネルを割り当てるかを設定します。

以下の画面は「BS」を選んだときの画面です。

リモコン	CH	チャンネル	種類
1	101	NHKBS1	テレビ
2	103	NHKBSプレミアム	テレビ
3	141	BS日テレ	テレビ
4	151	BS朝日1	テレビ
5	161	BS-TBS	テレビ
6	171	BSジャパン	テレビ
7	181	BSフジ・181	テレビ
8	191		テレビ
9	200		テレビ
10	211		テレビ
11	222		テレビ
12	233		テレビ

1 ▲▼で変更したいリモコンの数字を選び、**決定**を押す

2 必要に応じて、**緑**（入換）を押して変更する

3 **戻る**（終了）を押す

● 地域設定

お住まいの地域と郵便番号を設定しておくことにより、データ放送で、地域の情報を得ることができます。



● 県域設定

▲▼で県域を選び**決定**を押します。

● 郵便番号

①～⑩で郵便番号を入力します。「0」は⑩で入力します。

● 受信設定

「地上」で地上デジタル受信設定を、「衛星」で衛星受信設定を行います。

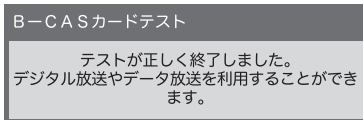
● 高速起動

電源を入れたときの起動を高速にするかを「入／切」で選びます。

機器設定 つづき

● B-CAS テスト

本機にセットされている miniB-CAS カードの状態をテストします。正常な場合は「テストが正しく終了しました。デジタル放送やデータ放送を利用することができます。」と表示されます。



システム設定

B-CAS 情報やルート証明書などを表示したり、放送メールを確認したりできます。

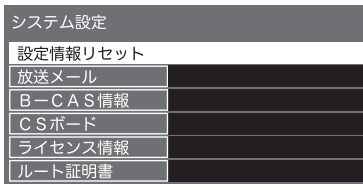
● 設定情報リセット

本機の廃棄を目的に、全ての設定情報を削除します。登録した機器の情報も失われるため、USB HDD に録画した番組は見ることができなくなります。

ただし、暗証番号は消去されませんので事前に視聴制限設定で暗証番号を削除してください。

1 ▲▼で「システム設定」を選び **決定** を押す

2 ▲▼で「設定情報リセット」を選び **決定** を押す



3 ◀▶で「はい」を選び **決定** を押す

ご注意

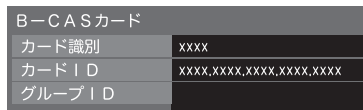
- 初期化を行うと、初期化前の状態に復元することはできません。

● 放送メール

放送局から受信したお知らせなどを一覧で表示します。詳しくは28ページをご覧ください。

● B-CAS 情報

B-CAS カードの識別番号などを表示します。



● CS ボード

110 度 CS デジタル放送局から送られてくる情報や案内が表示されます。



● ライセンス情報

本機のライセンス情報を表示します。

● ルート証明書

ルート証明書を表示します。ルート証明書は、地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されます。

その他の設定

文字入力設定などその他の設定です。

● 文字入力設定



● 入力方法

リモコンのボタンで入力するか画面に表示されるキーボードで入力するかを選びます。

● 変換方式

通常方式か予測方式かを選びます。

● 選局対象

選局対象を「設定チャンネル」「テレビのみ」「全チャンネル」から選びます。

設定チャンネル：チャンネル設定で設定したチャンネル

テレビのみ：独立データ放送を除くテレビ放送のみ

全チャンネル：放送されているすべてのチャンネル

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

こんな場合は故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑に点灯したままの点や、点灯しない黒い点がある
液晶画面は非常に精密な技術で作られています。ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」というきしみ音がする
部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする
本機は、電源が待機状態のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

全般

症状	原因や対処のしかた
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">• 電源コードが本機やコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。
リモコンが操作できない	<ul style="list-style-type: none">• リモコンを本機のリモコン受光部に向けていますか？• お部屋の蛍光灯の強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？ →リモコン受光部に強い光を当てないでください。• 乾電池が消耗していませんか？ →新しい乾電池に交換してください。• 乾電池の極性（＋）が逆になっていませんか？ →正しく入れ直してください。
突然電源が切れた	<ul style="list-style-type: none">• オフタイマーを設定していませんか？ →オフタイマーの設定を確認してください。• 操作しない状態や信号を受信しない状態が長く続いていませんか？ →タイマー設定の「無操作電源オフ」や「無信号電源オフ」の設定を確認してください。

故障かな？と思ったら^{つづき}

映像

症状	原因や対処のしかた
テレビの映像が出ない	<ul style="list-style-type: none">• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？ →アンテナケーブルの接続を確認してください。• 明るさは正しく調整されていますか？ →「画面の明るさ」や「周囲の明るさ」を調整してください。
外部機器の映像が出ない	<ul style="list-style-type: none">• 外部機器と正しく接続されていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	<ul style="list-style-type: none">• 電源コードのプラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。• 電源は入っていますか？ →電源を入れてください。• 入力切替は合っていますか？ →リモコンまたは本体のマルチ操作ボタンの入力切替操作で、入力を切り換えてください。
映りが悪い 映像や音声にノイズが混じる 映像や音声がなくなることがある 映像が静止することがある	<ul style="list-style-type: none">• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？• アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？ →アンテナを調整し直し、確実に固定してください。• アンテナケーブルの劣化が考えられます。販売店にご相談ください。• 天候による電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、場合によってはまったく受信できなくなったりすることがあります。天候の回復を待ってください。
色合いが悪い、色が薄い	<ul style="list-style-type: none">• 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ →「色の濃淡」や「色あい」を調整してください。
画面が暗い	<ul style="list-style-type: none">• 明るさは正しく調整されていますか？ →「画面の明るさ」や「周囲の明るさ」を調整してください。

故障かな？と思ったら^{つづき}

音声

症状	原因や対処のしかた
テレビや外部機器の音声がでない	<ul style="list-style-type: none">• 音量が最小になっていませんか？• 「消音」状態になっていませんか？• ヘッドホンが接続されていませんか？

デジタル放送

症状	原因や対処のしかた
地上デジタル放送が受信できない	<ul style="list-style-type: none">• miniB-CAS カードは正しく挿入されていますか？ →挿入方向を確認して、カチッと音がするまで挿入してください。
BS/110度CS デジタル放送が受信できない	<ul style="list-style-type: none">• 付属の miniB-CAS カードを挿入しましたか？ →他のテレビに付属の mini-B-CAS カードをお使いの場合は、BS/110度CS デジタル放送が受信できないことがあります。必ず本機に付属の miniB-CAS カードをお使いください。
110度CS デジタル放送が受信できない	<ul style="list-style-type: none">• 110度CS デジタル放送に対応したアンテナやケーブルをお使いください。
引越したら、地上デジタル放送が受信できなくなった	<ul style="list-style-type: none">• 「設置設定」の「チャンネル設定」をやり直してください。
番組表が表示されない 表示されるチャンネルが少ない	<ul style="list-style-type: none">• お買い上げ時、または長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。

故障かな？と思ったら つづき

録画

症状	原因や対処のしかた
USB ハードディスクが認識されない	<ul style="list-style-type: none">• 本機に対応した USB ハードディスクですか？ →本機で動作確認済みの機器をお勧めいたします。動作確認済み機器については、62 ページをご覧ください。• USB ハードディスクが正しく接続されていますか？ →USB ハードディスクを正しく接続してください（31ページ）。 USB ハブを経由した場合は正しく動作しないことがあります。• USB ハードディスクが本機に登録されていますか？ →USB ハードディスクを本機に登録してください（31 ページ）。
録画できない	<ul style="list-style-type: none">• USB ハードディスクの電源は入っていますか？ →電源オンが必要な USB ハードディスクの場合は、電源をオンにしてください。• USB ハードディスクの空き容量が不足していませんか？ →不要な番組を削除してください（38ページ）。• 録画できない映像ではありませんか？ →コピー禁止の番組や、独立データ放送、外部入力からの映像・音声は録画できません。• 放送開始時刻が変更されていませんか？ →録画予約した番組の放送開始時刻が繰り上げられた場合は録画できません。放送開始時刻が変更になり録画できなかった場合は、「システム設定」メニューの「放送メール」で確認できます。
録画した番組が再生できない	<ul style="list-style-type: none">• 本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。

製品仕様

型番	50TV4KUHDSW184	55TV4KUHDSW184	65TV4KUHDSW184
受信機型サイズ※1	50V	55V	65V
電源※2	AC 100V 50/60Hz		
定格消費電力	135W 電源「待機」時：0.4W	140W 電源「待機」時：0.4W	210W 電源「待機」時：0.4W
年間消費電力量(標準)	175kWh/year	180kWh/year	273kWh/year
区分名※3	DF1 (UHD、液晶ノーマル、付加機能1)		
外形寸法	幅	1130mm	1243mm
	高さ	715mm	775mm
	奥行	224mm	224mm
質量	12KG	13.8KG	22KG
液晶画面	画面寸法	幅 1096mm、 高さ 616mm	幅 1210mm、 高さ 680mm
	駆動方式	VA パネル (直下型 LED バックライト)	
	画素数	3840 x 2160	
壁掛け寸法	縦 200 mm x 横 200 mm	縦 300mm x 横 200 mm	
	本体側固定用ネジ：PM6 x 25 mm (本体付属)		
受信チャンネル	地上波デジタル：UHF(13 ~ 62ch) CATVパススルー (VHF、UHF) 対応共有 BS デジタル：BS000 ~ BS999、110度CS デジタル：CS000 ~ CS999		
チューナー	2 地上デジタルチューナー + 2 衛星デジタルチューナー		
音声出力	実効最大出力：10W + 10W (JEITA)		
入力・出力端子	HDMI Ver 2.0 入力 (1 ~ 4) ARC 出力 (HDMI ポート 2 共有) HDMI 対応入力解像度：480i、480P、720/60P、1080/60i、 1080/24P、1080/30P、1080/60P、4K24Hz/30Hz/60Hz		
	AV 入力 映像：黄 (ピンジャック)、音声：赤/白 (ピンジャック) x 1		
	USB：録画用外付けHDD専用 x 2		
	LAN ポート x 1		
	ヘッドホン出力端子：口径 3.5mm ステレオミニジャック x 1		
	光デジタル音声出力端子 x 1		
使用環境条件	温度：0℃ ~ 40℃ / -20℃ ~ 45℃ 湿度：20% ~ 80%RH / 10%RH (結露のないこと)		
付属品	9 ページを参照してください。		

※1 受信機型サイズ (50V など) は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※2 本機は日本での使用のため設計されており、電源電圧、放送方式の異なる外国ではお使いになれません。

※3 区分名：区分名とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。

製品仕様

- 動作確認済み外付け USB ハードディスクは以下のとおりです。

発売元	製品シリーズ名
エレコム社製	ELD-ERTUBK シリーズ SGD-NXU シリーズ ELD-QENUBK シリーズ
BUFFALO 社製	HD-NRLC シリーズ

* 上記機器との動作を保証するものではありません。

ご注意（本表をご参照するにあたって）

- USB ハブは使用できません。
- USB ハードディスクを最初にテレビへ接続した時、このテレビ専用にて初期化されて以前のデータは消去されます。従って、他のテレビで録画した番組や PC でのデータを残したまま USB ハードディスクを共用して使う事はできません。
- 上記 USB ハードディスクは、弊社にて動作確認済みです。（但し、HDD を完全保証するものではありません。）
- 新しく動作確認が完了した USB ハードディスクは順次追加更新します。
- SeeQVaultTM(シーキューボルト) によるコンテンツ保護技術対応の USB ハードディスクはご利用できません。
- USB ハードディスクに関するお問い合わせは、それぞれの USB ハードディスクメーカーへお願いします。
- 発売以後にて生産終了する USB ハードディスクが発生する場合も御座います。
- USB ハードディスクのカラーについては、型名の*または**で指定可能です。

